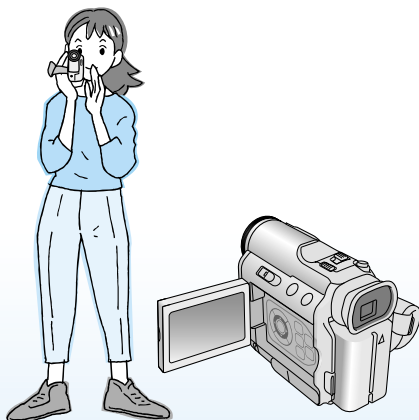
デジタルビデオカメラ

型名GR-DZ7

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

ご使用のまえに

この取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
**特に「安全上のご注意」(P. 8)は、必ず
お読ください。**
●本機の製造年は、本体底面に表示され
　ています。

海外のお客さまへ

本体画面の表示などを英語に
変えるには、P. 23 をご覧
ください。

For English Users

To change the Menu indi-
cations etc. to English,
see page 23.

準備
すぐ使う
撮影・再生
編集
困ったとき
必要なとき

LYT1317-001B

「ムービー」も、「写真（静止画）」も…

使い分けで楽しさがグーンとひろがります。

	動く画像	静止画像	使い分けの例
ミニDVカセットテープ	**ムービー**	**静止画効果** の画面	●編集してディスクなどに保存
メモリーカード	**動画**	**静止画**	●パソコン編集 ●メール送付

■200万画素CCDでムービーも、写真も美しく残す「メガブリッド」エンジン搭載。

■縦型のスリムさと、横型の持ちやすさの「パームデザイン」。

■屋外でもくっきり見やすい2.5型「クリアブライト液晶モニター」。

お使いになる前に

- 安全上のご注意
- バッテリーを充電する
- テープとカードを入れる

すぐ使いたい！

- ムービーを撮る/見る
- 静止画を撮る/見る

もっと使いこなす！

撮影/再生する

- ズーミング（大きく/広く撮る）
- 逆光のとき/暗いとき
- テレビで見るとき

編集する

- ビデオをダビングする
- パソコンで編集する

困ったときは…

- 故障かな？！
- こんなメッセージが表示されたら

もし必要なとき

- 保証とアフターサービス
- おもな仕様

もくじ

1 準備する

はじめに

準備する

2 すぐ使う

3 撮影する

オートで撮る

テープに撮る

カードに撮る

マニュアルで撮る

テープやカードに撮る

もくじ

4 再生する

テープを見る

カードを見る

編集する

テープを編集する

カードを整理する

困ったとき

必要なとき

設定を変える

日常のお手入れなど

※パソコンとの接続と付属のソフトウェアCD-ROMの使いかたは『ソフトウェア取扱説明書』をご覧ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

人が死亡、または重傷を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの。

人が死亡、または重傷を負う可能性があるもの。

人が重傷を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの。

絵表示について

 注意・警告が必要な事項。（図中に具体的な注意内容）

 禁止されている事項。（図中に具体的な禁止内容）

 実行して頂きたい事項。（図中に具体的な実行内容）

万が一こんなときは

バッテリーをはずす／電源プラグを抜く

- 煙が出たり異臭がするとき
- 落下などにより壊れたとき
- 内部に水や異物が入ったとき

（そのまま使用すると火災や感電の原因）

販売店に修理を依頼してください

バッテリー・リモコン用電池

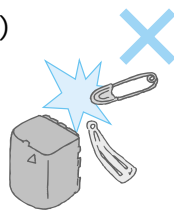
絶対に分解、加工、加熱、火中投入などをしない

- 液漏れ、発熱、破裂、発火による火災やけがの原因。

端子部に金属物（ネックレス、ヘアピンなど）を接触させない

- ショートによる発熱で火災や、やけどの原因。
- 持ち運びのときは必ずバッテリーにはキャップを付け、電池は一つづつビニール袋などに入れてください。

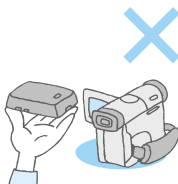
高温（60℃以上）になる場所に置かない

- 発熱、破裂、発火による火災やけがの原因。

ACアダプター

本機以外に使わない

- 火災や故障、感電の原因。
- 本機用のものか確認してからご使用ください。

分解や改造をしない

- 火災や感電の原因。
- お客様による点検、整備、修理は危険です。販売店にご依頼ください。

⚠警告

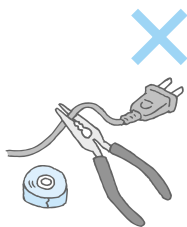
バッテリー、リモコン用電池

液もれしていたら使わない
- ショートによる発熱で、やけどの原因。
- 本体取りつけ部をよくふいて、バッテリーを交換してください。
- 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 万一目などに入ったときは、きれいな水でよく洗った後、ただちに医師に相談してください。

ぬれたバッテリーは使わない
- 故障、感電、発熱、発火の原因。

電池は幼児の手の届かない場所に置く
- 誤って飲み込んだときは、医師に相談してください。

AC アダプター

電源コードを傷つけない
- 火災や感電の原因。
- 次のようなことは電源コードが痛む原因になります。
  コードを持って抜く、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る重いものを載せる、加熱器具に近づけたりしない。

電源コードが痛んだときは電源プラグを抜く
- 販売店に修理を依頼してください。
- 芯線が露出したり、断線したまま使用すると、火災や感電の原因。

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない
- 感電の原因。

電源プラグは根元までしっかり接続する
- 火災や感電の原因。
- 接触不良で発熱することがあります。

電源プラグにほこりや金属を付着させない
- 火災や感電の原因。
- 付着しているときは電源プラグを抜き、取り除いてください。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠警告

本　体

中に金属や燃えやすいものや、水などの液体を入れない
●火災や感電の原因。
●特にカセットテープやメモリーカードの出し入れ口に注意願います。
●降雨・降雪中、海岸・水辺などでは水が入らないよう、ご注意ください。
●ふろ場では使用しないでください。

内部の部品に触らない
●感電や故障の原因。
●カセットテープの出し入れ口から見える部品にさわらないでください。

機器を接続するときは、電源を切る
●感電や故障の原因。

分解や改造をしない
●火災や感電の原因。
●内部の点検、整備、修理は販売店にご依頼ください。

運転中に使用しない
●交通事故の原因。
●自動車などを運転しながらの撮影・再生はしないでください。

レンズやファインダーを直射日光などの強い光源に向けない
●火災や故障の原因。
●集光により、内部部品が破損、過熱することがあります。

⚠注意

バッテリー、リモコン用電池

充電中に長時間ふれない
●低温やけどの原因。
●間違ってふれないような場所で充電してください。

電池を入れるときは、極性表示(＋と－)を合わせる
●電池の破裂、液漏れにより火災、けが、周囲の汚損の原因。

AC アダプター

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
●感電の原因。

充電中に長時間ふれない
●低温やけどの原因。
●間違ってふれないような場所で充電してください。

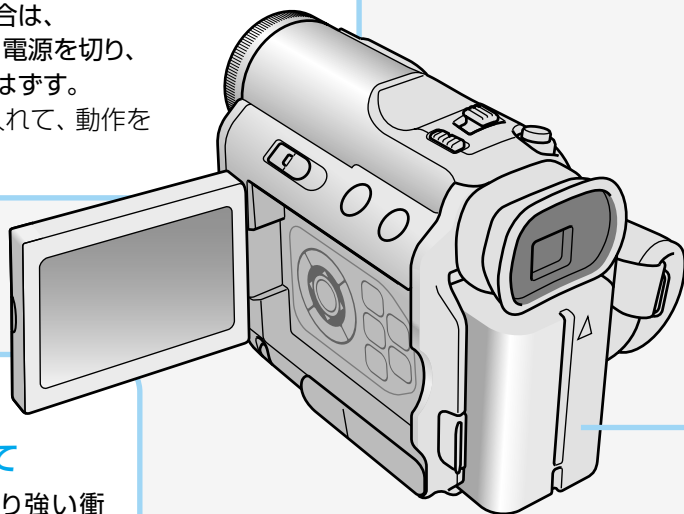
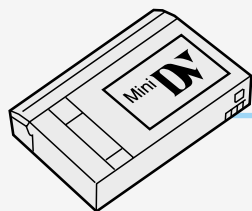
コードはつまずかないように配置する
●製品の落下や転倒によるけがの原因。

⚠注意

本　体	**次のような場所には置かない、使わない** ●浜辺など砂ぼこりの多いところ。 ●湿気やほこりの多いところ。 ●調理台や加湿機のそばなど、油煙や湯気の当たるところ。 ●熱器具の近くや直射日光強いところなど高温になるところ。 ●火災や感電、故障の原因。
アクセサリー	**指定のアクセサリーを使う** ●火災や感電の原因。 ●本機用のものか、確かめてお使いください。 **照明用ライト(別売)の使用中に、手、顔、髪の毛などを近づけない** ●やけどの原因。 ●特にライト部は高温になります。
共　通	**移動するときは、電源プラグや接続コードをはずす** ●コードの損傷による火災ややけどの原因。 **長期間使わないときや、お手入れするときはバッテリーをはずし、電源プラグを抜く** ●感電の原因。 ●電源が「切」でも機器には電気が流れています。 **5年に一度は販売店に内部点検を依頼する** ●内部のほこりに電気が流れ、火災や感電の原因。 ●湿気の多くなる梅雨期の前が効果的です。 **飛行機内での使用は、航空会社の指示に従う** ●本機の電磁波などが、計器に影響を与えるおそれがあります。
付属品	**付属のCD-ROMをオーディオ用プレーヤーで再生しない** ●回路やスピーカーを破損する恐れ。 ●オーディオ用のCDではありません。再生しようとすると過大な信号が流れるおそれがあります。

使用上のご注意

このビデオカメラについて

- DV方式です。他の方式や従来式のビデオとは互換性がありません。
- 電源(バッテリーやACアダプター)をはずすときは、必ず電源を切る。
  （動作中にはずすと、テープやカードの損傷や誤動作の原因）
- 使わないときは、電源を切る。
  （入れたままだと表面が温かくなる）
- 長期間使わない場合は、
  テープを取り出し、電源を切り、
  バッテリーを取りはずす。
  （ときどき電源を入れて、動作を点検する）

液晶画面について

- 表面を強く押したり強い衝撃を与えない。
  （傷がつく、割れるなど故障の原因）
- 小さく光る点（赤・青・緑）や黒い点は故障ではありません。
  ・テープやメモリーカードには記録されません。

著作権について

- 録画、録音したビデオは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 鑑賞や興行、展示物など、個人として楽しむ目的でも、撮影を制限している場合はご注意ください。

テープとメモリーカードについて

- 次のマークがあるものを使ってください
  ・テープは Mini DV ・カードは SD MultimediaCard
- 曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えない。
- 保管は、湿気が少なく、カビの発生しない場所に。
- カードの金属部分を触らないでください。
- 不具合により正常に動作しなかったとき、内容の補償はご容赦ください。

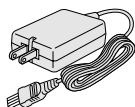
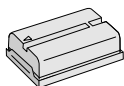
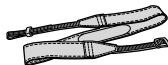
バッテリー(充電式電池)について

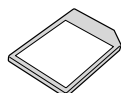
- 小型で高容量のリチウムイオンバッテリーです。
- 低温(10 ℃以下)では使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  ・冬場の屋外などではバッテリーをポケットに入れるなど、温かくしてから取りつける。(カイロなどには直接ふれないように注意)
- 長期間保管するときは、使いきってください。(特性劣化を防ぐ)
  ①テープを入れずに、電源スイッチを「撮影」または「M」に合わせ、
  ②電源が自動的に切れるまで待ち、バッテリーを取りはずす。
  ・保管中は半年に1 回程度充電し、再び使いきって保管する。
- 使わないときは、必ず取りはずす。(バッテリー残量が減るのを防ぐ)
- 取り外したバッテリーは… ・バッテリーキャップを取りつける。
  ・約15～25 ℃の乾燥した所で保管する。
- 使用済みは、リサイクルへ。
  安全のため、バッテリーキャップを取りつけるか、端子部にセロハンテープなどを貼り、充電式電池リサイクル協力店へ。
  ・お問い合わせ　小形二次電池再資源化推進センター　http://www.jbrc.com/
  ※見られない場合は、裏表紙のお客様ご相談センターへ

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

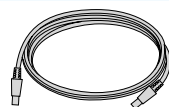
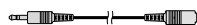
■次のような場所に置かないでください。
・晴天時の閉め切った車内など、高温になる場所。
・直射日光が当たる場所。
・ゴムまたはプラスチック製品に接触する場所。

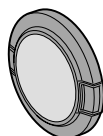
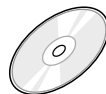
付属品／別売アクセサリー

万が一、不足品がございましたら、お買い上げの販売店、
または最寄りのサービス窓口にお問いあわせください。

ACアダプター
AP-V14
（LY21103-003B）

バッテリーパック
BN-V408

ショルダーストラップ

ワイヤレスリモコン
RM-V720

メモリーカード(1枚)
8MB SDメモリーカード
（ビデオカメラのなかに入って出荷されております。）

ボタン電池(CR2025)
リモコン動作確認用
（リモコンのなかに入って出荷されております。）

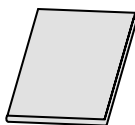
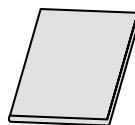
S/AV/編集コード

専用USBケーブル
Aタイプ－ミニBタイプ

マイクコード

ヘッドホンコード

レンズキャップ

CD-ROM

大（1個）

中（1個）

小（4個）

フェライトコア

取扱説明書
(本書)

ソフトウェア
取扱説明書

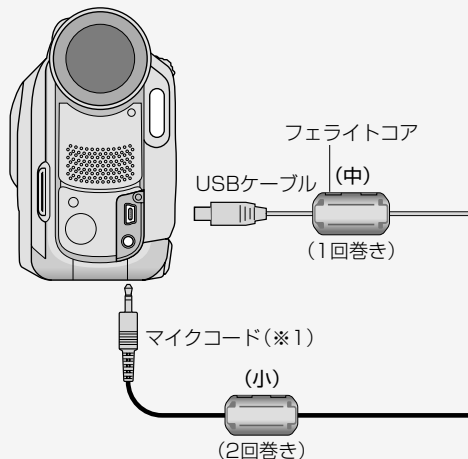
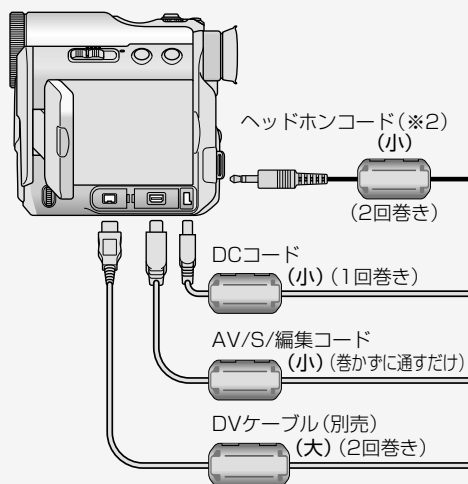
■その他の別売アクセサリー（詳しくはカタログをご覧ください。）

品名	型名
バッテリーパック	BN-V416
バッテリーパック	BN-V428
バッテリーパック	BN-V438
バッテリーキット	VU-V840KIT
バッテリーキット	VU-V856KIT
AC アダプター/チャージャー	AA-V40
DC コード	VC-VBN800
DV ケーブル	VC-VDV204

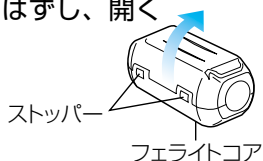
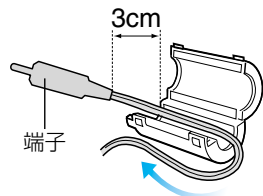
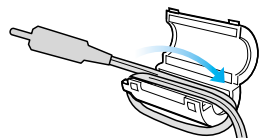
品名	型名
DV 動画編集パック	GV-DV1500
PC カードアダプター	CU-V51
フロッピーディスクアダプター	CU-V41
USB リーダー/ ライター	CU-V70
ワイヤレスリモコン＊	RM-V717 (LY20750-002A)
編集延長コード＊	QAM0515-001

＊印のアクセサリーは、最寄りのサービス窓口にてお買い求めください。(P. 98)

接続時のノイズをおさえるために

コードやケーブルをお使いの場合は、フェライトコアを必ず取りつけてください。
本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減することができます。

※1　マイクコードは本機とマイク(別売)を接続するときに使います。

※2　ヘッドホンコードは本機とヘッドホン(別売)を接続するときに使います。

取りつけかた

1. 両側のストッパーをはずし、開く

2. 端子から約3cmの位置に、

指定された回数分巻きつける(イラストは1回巻きの説明です)

3. コードをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

各部のなまえ

左側面

フード
別売のワイドコンバージョンレンズ、テレコンバージョンレンズ、フィルターなどを使うときは、回しながら取りはずす。
フォーカスレバー
(P. 43)
端子カバー
DC端子
(P. 24)
S/AV端子
(P. 49)
DV端子
(i-LINK)
(P. 56)
明るさ補正(P. 45)/
再生・一時停止ボタン
巻戻しボタン
早送りボタン
ナビ書込みボタン
(P. 47)
インデックス/ナビボタン
(P. 47,51)
動画メモリー/インフォボタン
(P. 39,51,53,61)
選択ボタン
(P. 50)
決定ボタン
メニューボタン
十字ボタン
▲：上へ
▼：下へ
▶：右へ
◀：左へ
逆光補正/停止ボタン
(P. 44)
明るさ
決 定
逆光補正
ナビ 書込み
インデックス ナビ
メニュー
動画メモリー インフォ
選 択
S/AV
DC

上　面

ショルダーストラップ取付部（P. 31）

フラッシュボタン（P. 44）

ナイトアイボタン

電源ランプ

モード切替スイッチ（P. 33）

電源スイッチ

再生	：再生や編集をするとき
切	：電源を切るとき
撮影	：全自動で（オート）撮影するとき
M	：設定を変えて（マニュアル）撮影するとき

静止画ボタン

ズーム（P. 37）/音量スイッチ

T	撮影時：大きく撮る 再生時：音量大
↕	
W	撮影時：広く撮る 再生時：音量小

底　面

右側面

各部のなまえ

正　面
背　面
レンズ
フラッシュ
ファインダー
周囲の明るさ
を感知。
フラッシュ
センサー
ステレオ
マイク
撮影ランプ
MIC
リモコン受光部
カメラセンサー
端子カバー
液晶画面
撮影中、再生中に
映像が映る。
また、メニューも
表示される。
バッテリー取付部
撮影ボタン
ヘッドホン
端子カバー
USB端子
USBケーブルを接続する。
詳しくは、『ソフトウェア
取扱説明書』をご覧ください。
マイク端子
別売のマイクを取りつける。
ヘッドホン端子

リモコン

リモコンだけで使える再生機能

■コマ送り再生（ムービーのみ）
➡「スロー」を押す。
（押す度1コマ送る）

■スロー再生（ムービーのみ）
➡「スロー」を約2秒以上押し続ける。

■再生画面を拡大する
➡「T」押して大きく「W」で戻す。

■拡大した画面を動かす
➡「シフト」押しながら▲、▼、◀、▶で動かす。

■再生画面に効果をつける（ムービーのみ）
➡「演出効果」を押して効果を選ぶ。

※編集用リモコン（別売：RM-V717）は、自動編集（P. 64）をご覧下さい。

画面表示の見かた 撮影時の表示

すべての撮影に共通の表示

ナイトアイ（P. 44）
オート撮影（P. 33）
ズーム倍率（P. 37）
ズーム（P. 37）
フラッシュ（P. 44）
白バランス（P. 84）
明るさ固定（P. 45）
明るさ補正（P. 45）
逆光補正
スポット明るさ補正
数字 明るさ補正
プログラムAE（P. 84）
画面の明るさ（P. 92）
マニュアルフォーカス
日時
AM：午前
PM：午後
（P. 27）
セルフタイマー（P. 88）
バッテリー残量（P. 103）
多い
少ない

10x W T
画面明るさ −+
2004. 12. 1
PM 2：00

静止画撮影（メモリー：メモリーカード）

ピント
インターバルショット
（P. 38,86）

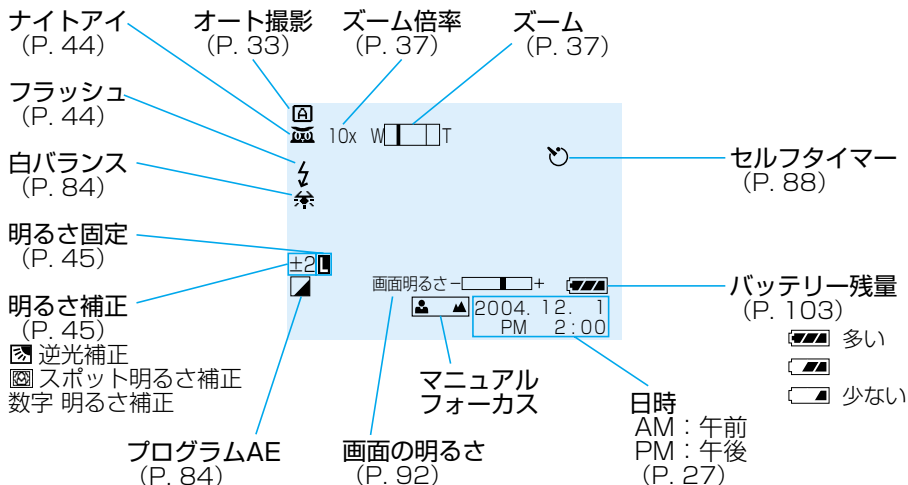
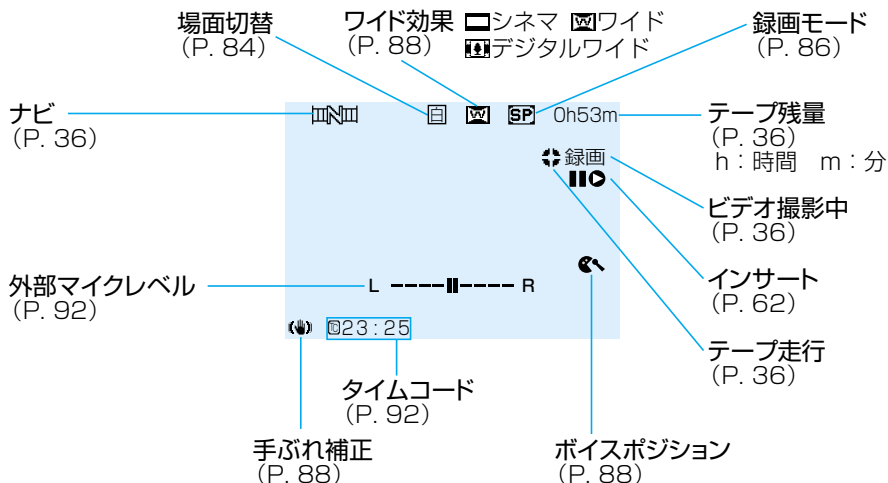
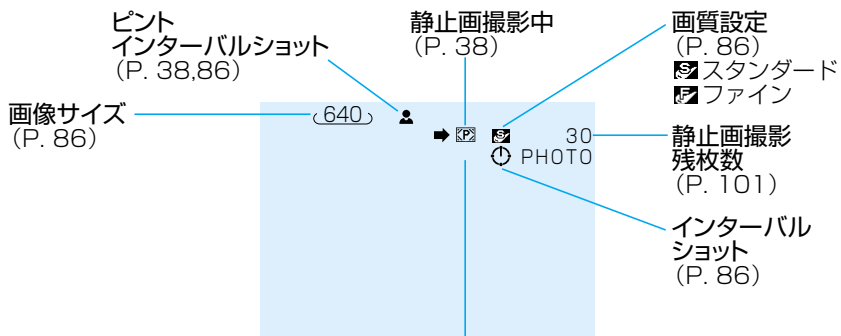
静止画撮影中
（P. 38）

画質設定
（P. 86）
スタンダード
ファイン

画像サイズ
（P. 86）

640
30
PHOTO

静止画撮影
残枚数
（P. 101）

インターバル
ショット
（P. 86）

カード
・カードが入っていないと点滅します。
・カード情報を読み込んでいるときは、黄色く点滅します。
（ナビ、動画メモリー、静止画）

動画撮影（メモリー：メモリーカード）

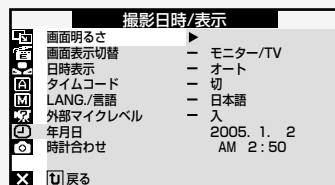
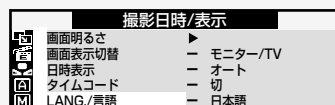
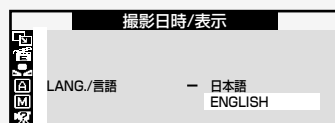
画面表示の見かた 再生時の表示

For English Users

To change the Menu indications etc. to English

Set the POWER switch to "M"
while pressing down the LOCK button located on the switch.

Press MENU button.

Press UP or DOWN button to select "[clock icon]". Press SET button.

Press UP or DOWN button to select "LANG". Press SET button.

Press UP or DOWN button to select "ENGLISH". Press SET button.

The Menu indication changes to ENGLISH.

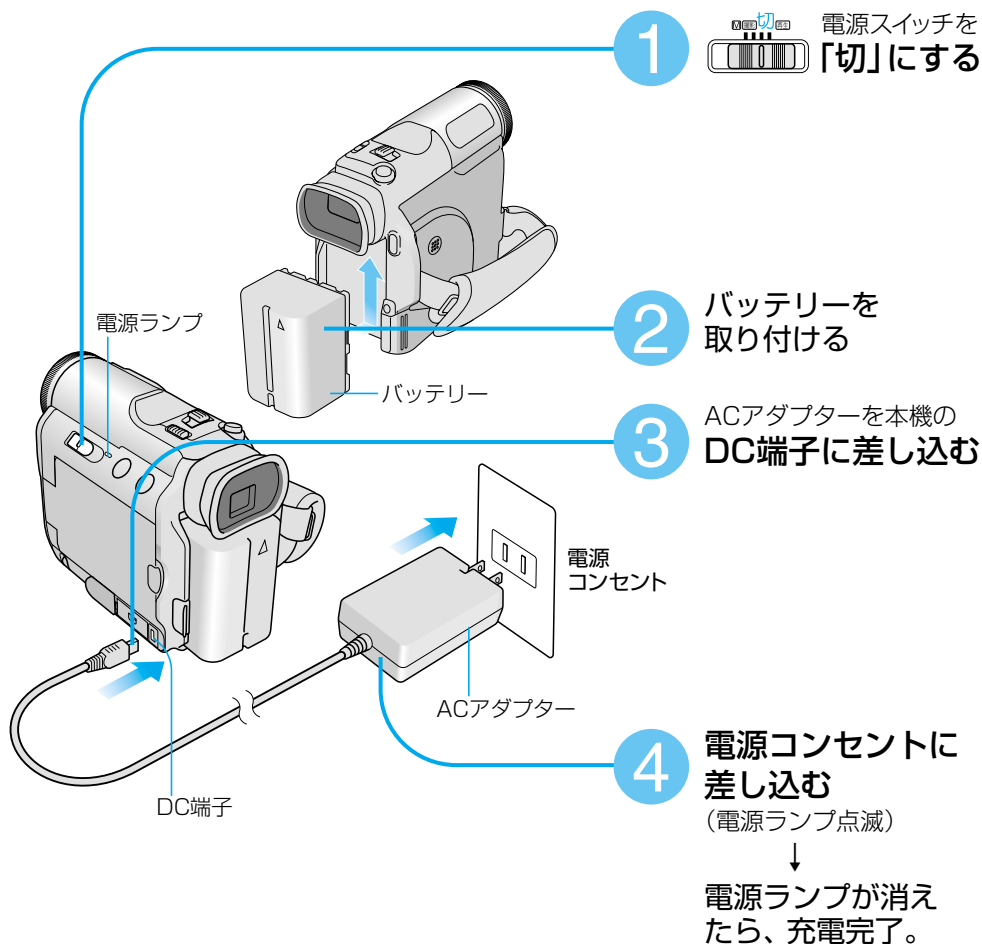
Press SET button twice.

The Menu screen closes.

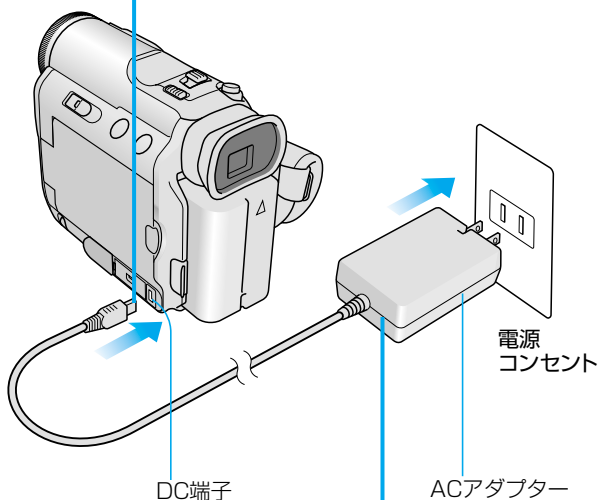
準備 1

電源を準備する

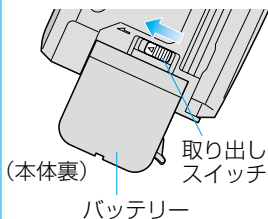
バッテリーの充電

屋外での撮影や、近くに電源コンセントがないときなどは、バッテリーが便利です。

■充電が終わったら ➡ ACアダプターを本機と電源コンセントから抜く。

ACアダプターを使う

自宅での撮影などでは、バッテリーの残量を気にせずにお使いになれます。

充電時間の目安

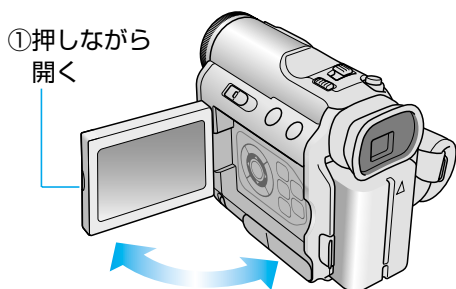
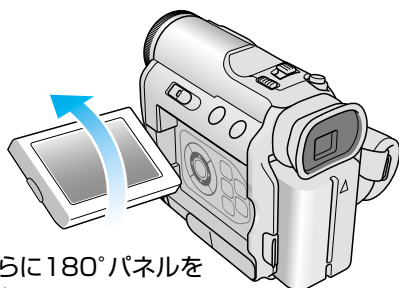
室温10℃～35℃のとき
●付属バッテリー：
約90分
他のバッテリーについては「充電時間の目安」(P.103)をご覧ください。

バッテリーを取りはずすときは

●電源スイッチを「切」にして、取り出しスイッチを動かしたまま、逆の動作で取りはずす。

準備 2

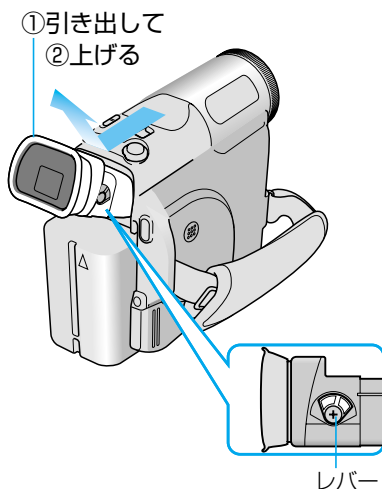
画面を準備する

液晶画面を使う

映像や表示内容が大きく見やすく便利です。

■自分撮り（対面撮影）や編集をするには

■画面の明るさを調節するには

➡「画面明るさ」P. 92

ファインダーを使う

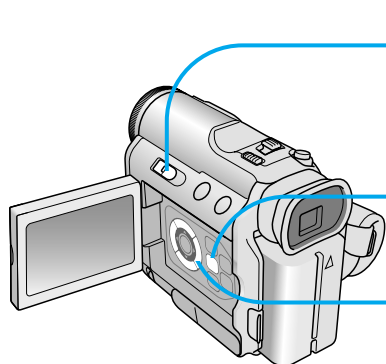
周りが明るすぎて液晶画面が見えにくい場合や、バッテリーの消耗を防ぎたいときに使います。

■文字のピントが合っていないとき

➡ ファインダーをのぞきながらレバーを動かし、文字がはっきり見えたところで止める。

■画面の明るさを調節するには

➡「画面明るさ」P. 92

準備3 時計を合わせる

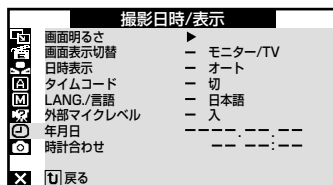
お買い上げ時や、海外旅行などで時刻を変えたいときは
年月日と時計表示を設定してください。

「M」に合わせる
（ロック解除ボタンを
押しながら動かす）

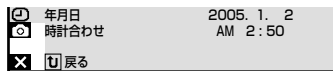
押す

①「[時計アイコン]」を▲▼で選んで
②決定する

①「年月日時計合わせ」を
▲▼で選んで
②決定する

年月日	2004. 1. 1
時計合わせ	AM 12 : 00
戻る	

5

①▲▼で設定し
②決定する

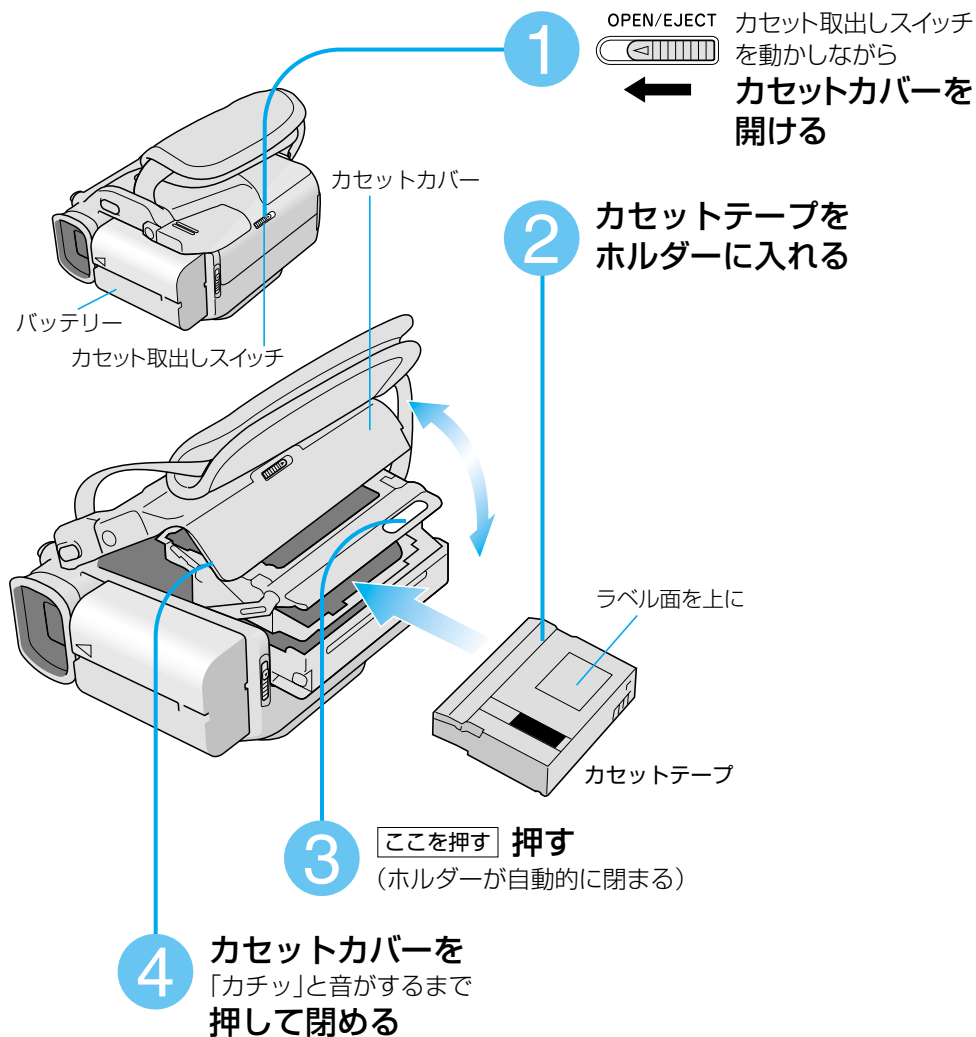
年月日	2005. 1. 2
時計合わせ	AM 2 : 50
戻る	

同様に月日と時刻を合わせ**決定する**

①[戻るアイコン]（戻る）を選んで
②決定を2回押す
（撮影画面に戻る）

準備 4 テープを入れる

確認：充電されたバッテリーは付いていますか？

3 ここを押す **押す**
（ホルダーが自動的に閉まる）

4 **カセットカバーを**
「カチッ」と音がするまで
押して閉める

■テープを取り出すには ➡ 1. 手順①でカバーを開け、
（自動的にカセットテープが出てくる）
2. テープを取り出し、
3. 手順③と手順④で閉める。

準備5 カードを入れる

確認：電源スイッチが「切」になっていますか？

電源スイッチ

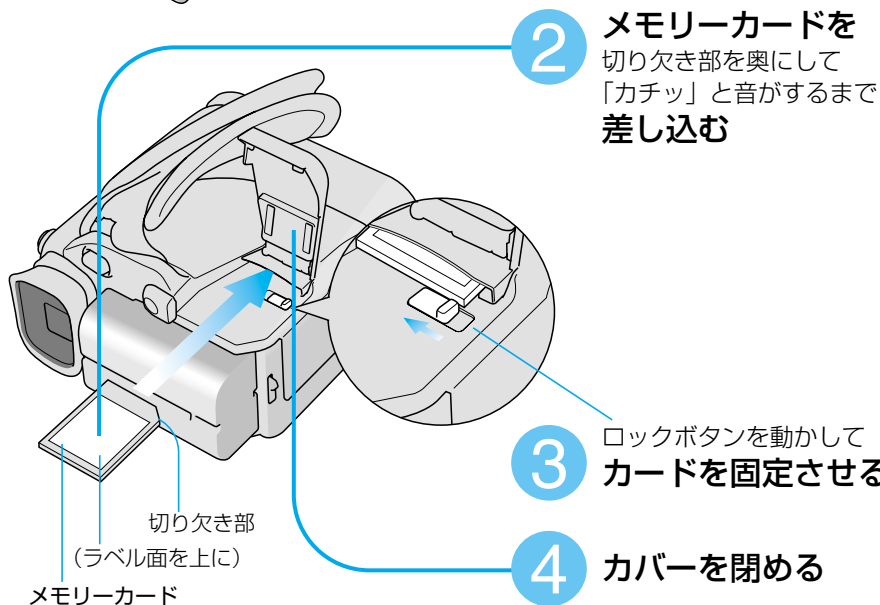
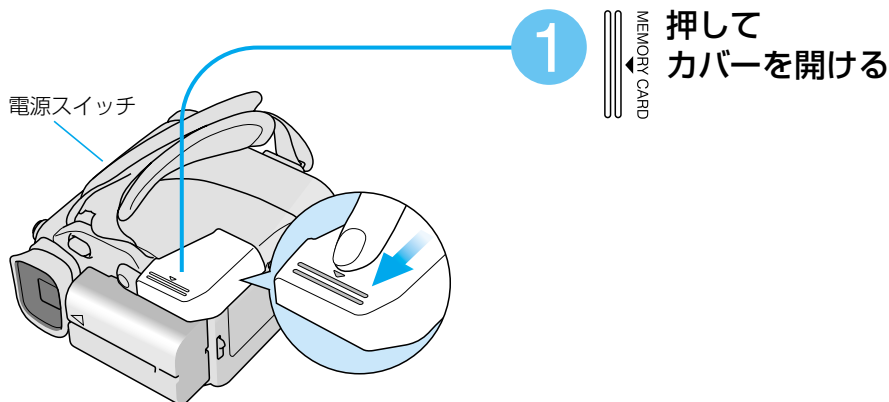
MEMORY CARD

1 押して カバーを開ける

2 メモリーカードを
切り欠き部を奥にして
「カチッ」と音がするまで
差し込む

3 ロックボタンを動かして
カードを固定させる

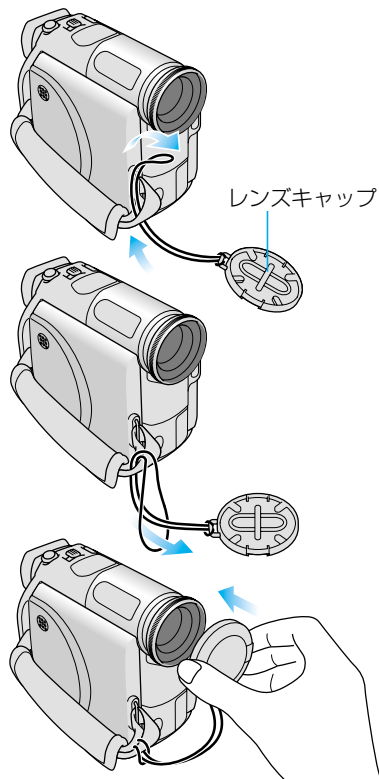
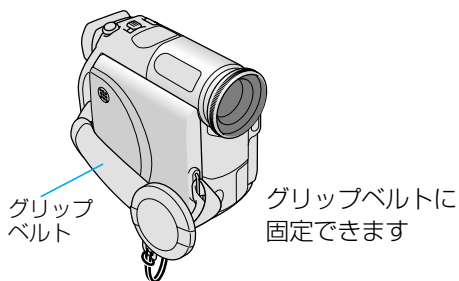
4 カバーを閉める

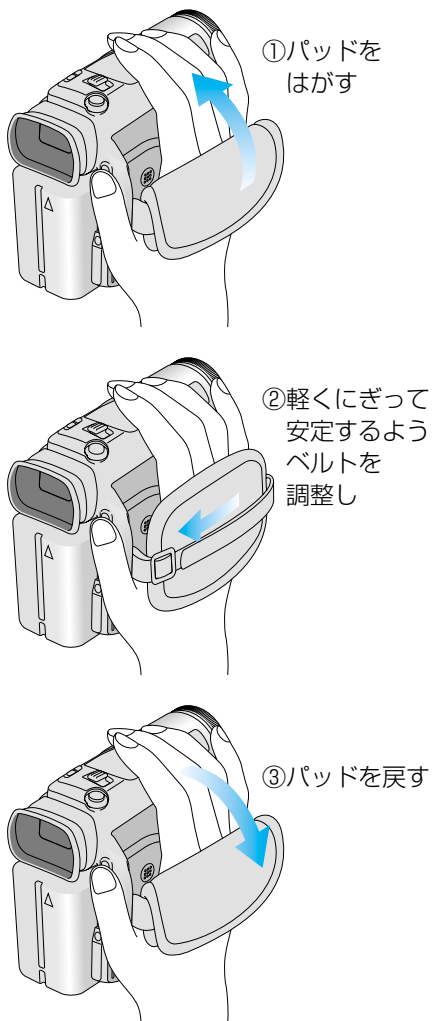
切り欠き部
（ラベル面を上に）
メモリーカード

■カードを取り出すには
➡ 手順③のロックボタンを戻し、カードを押し込んで取り出す。

■新しく買った別売のカードを使うには
➡ はじめてのご使用の前に、「フォーマット」（P. 72）が必要です。

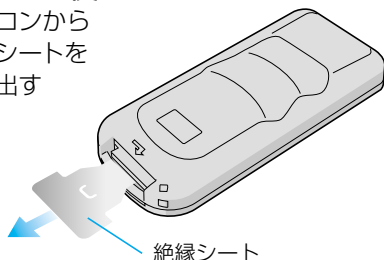
準備 6 付属品を準備する

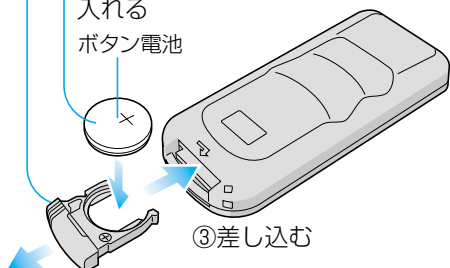
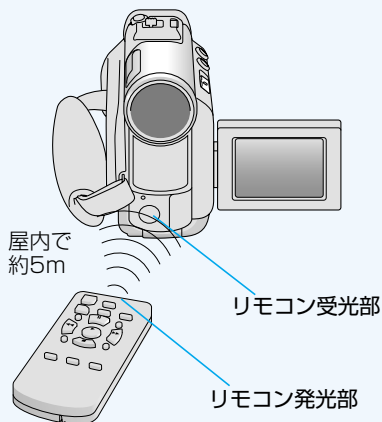
レンズキャップを付ける

撮影しないときは、レンズの保護のために取り付けます。

■撮影するときは

グリップベルトの調整

グリップベルトを最適な長さに調整しておくと、長時間でも楽に撮影できます。

リモコンに電池を入れる

■はじめて使うときは

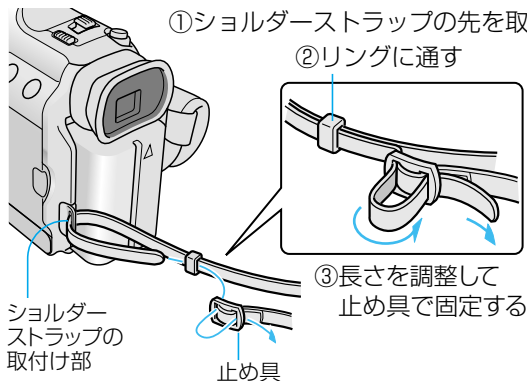
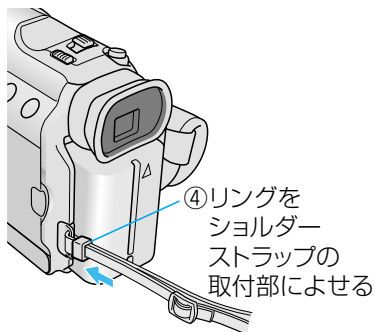
①リモコンから
絶縁シートを
引き出す

■電池を入れ替えるときは

①つまみを押して引き出し
②新しいボタン電池を
入れる
③差し込む

リモコンの使い方

お知らせ

・角度によっては操作できない場合があります。
・受光部に直射日光や照明の強い光が当たると、誤作動したり、動作しないことがあります。

ショルダーストラップを付ける

基本操作 1

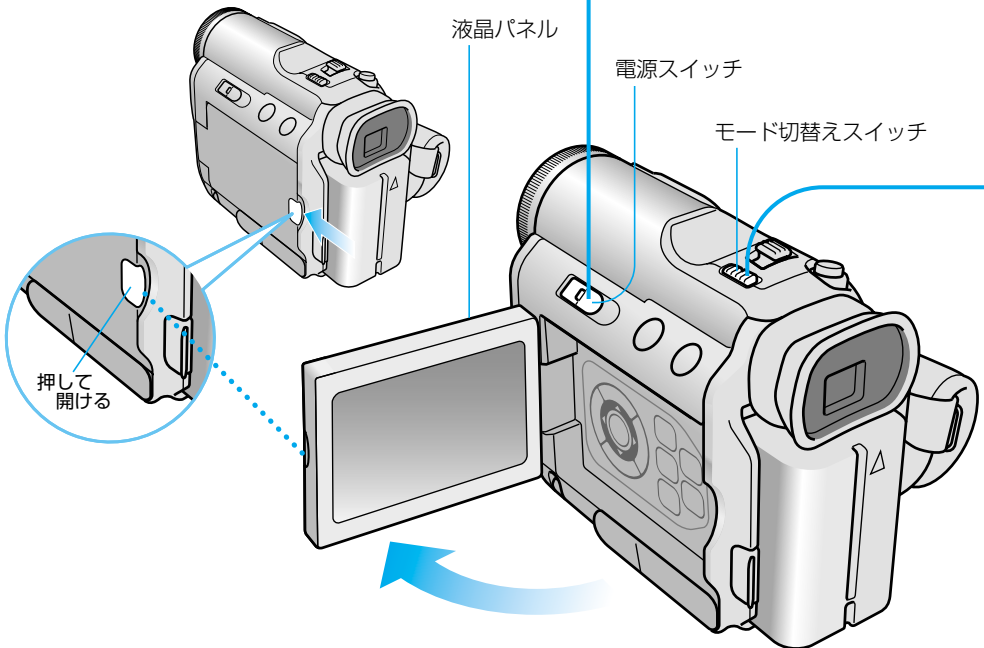
共通の基本操作

電源を入れるには？

1. **液晶パネルを開き、**
（またはファインダーを引き出す）

2. **電源スイッチを「切」以外にする**
本機は、液晶パネルを開いた状態で、電源スイッチを「撮影」や「再生」にすると電源が入ります。

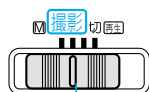
■電源を切るには ➡「切」

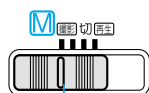
お知らせ

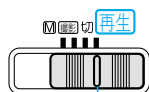
「クイックパワーオフ」：撮影時は液晶パネル（またはファインダー）の開閉で、電源の入／切ができます。

この操作は、撮影や再生・編集など、全ての場面に共通する操作です。
以降のページではこれらの操作説明を「準備」として省略する場合があります。

撮影／再生を選ぶ

電源スイッチ

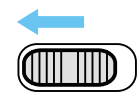
■オートで撮影するとき ➡ 「撮影」
（全自動）

ロック解除を
押しながら合わす

■マニュアルで撮影するとき ➡「M」
撮影の細かい設定をして撮るとき。
（「メニューを表示する」P. 82）

ロック解除を
押しながら合わす

■再生や編集するとき ➡ 「再生」
撮影した映像を見たり、編集するとき。

ロック解除を
押しながら合わす

テープ／カードを選ぶ

モード切替え
スイッチ

■テープに撮るとき ➡ 「ビデオ」
ムービーを撮影するときに使います。

ビデオ　メモリー

■カードに撮るとき ➡ 「メモリー」
主に静止画を撮影するときに使います。
Eメールなどで送れる動画を撮るときにも。

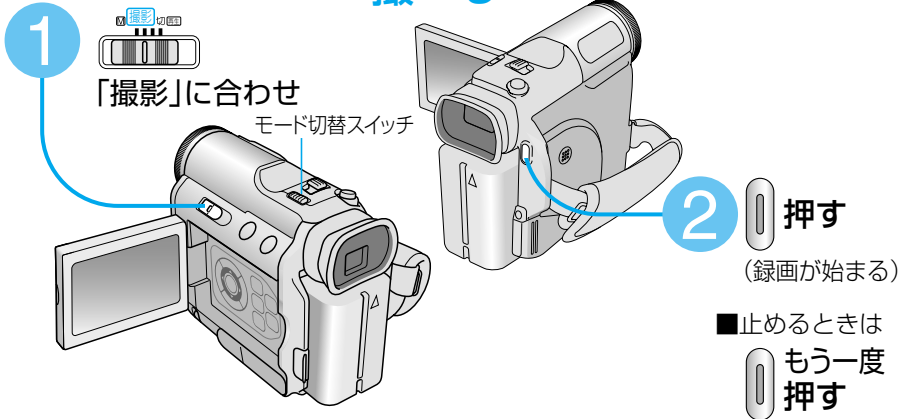
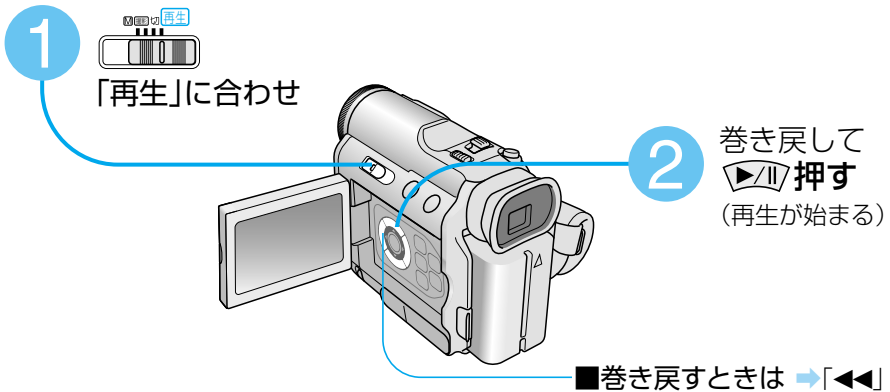
ビデオ　メモリー

基本操作 2 ムービーを撮る／見る

ムービーは、テープに撮影します。(撮影可能時間 P. 100)
長時間の撮影や、いろいろな効果を入れることができます。
大切な撮影をするときは、事前に試し撮りをしてください。

準備　●モード切替スイッチ:「ビデオ」

基本操作 3

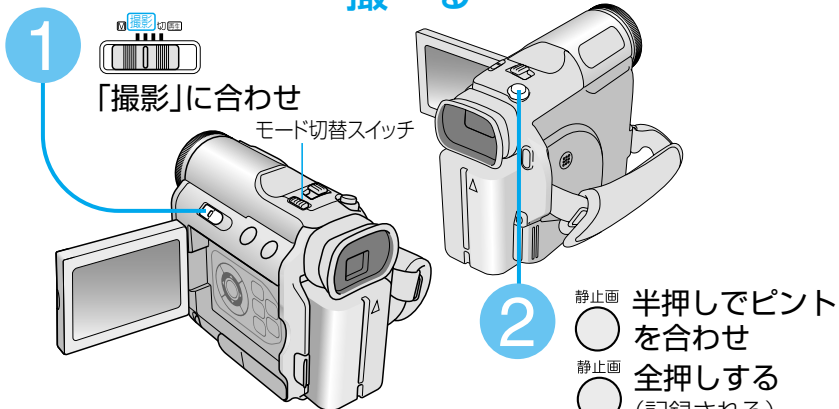
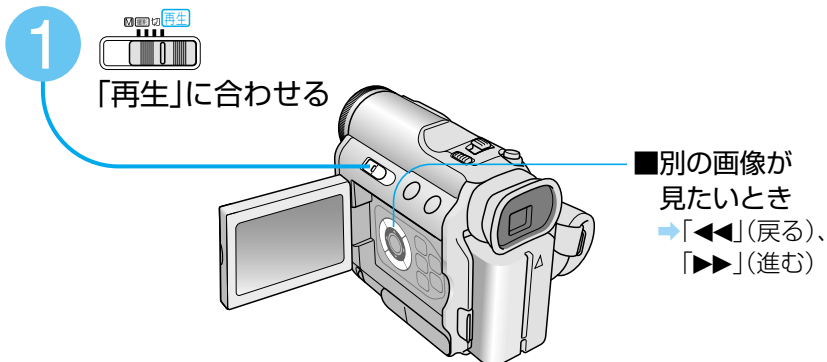
静止画を撮る／見る
（写真）

静止画は、メモリーカードに撮影します。（撮影可能枚数 P. 101）
再生画像の一覧表示や、プリントの設定をすることができます。

準備　●モード切替スイッチ：「メモリー」

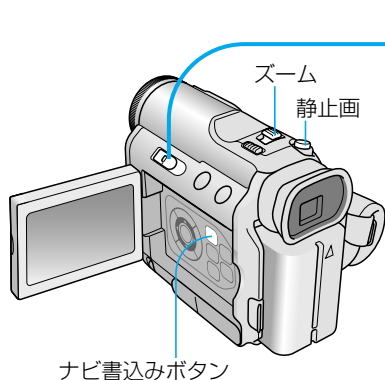
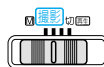
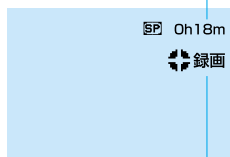
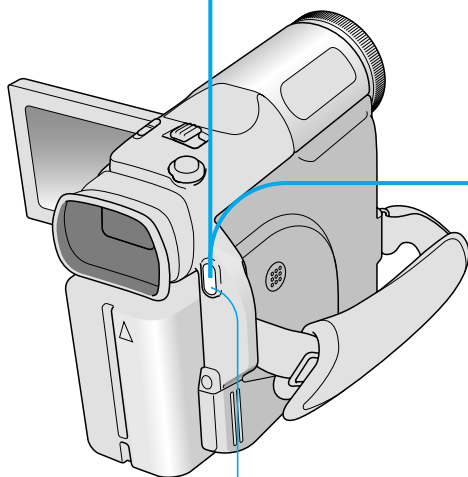
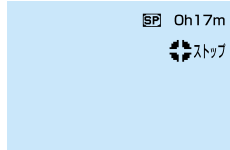
撮　る

見　る

準備
すぐ使う
撮影・再生
編集
困ったとき
必要なとき

オート撮影 1

テープに撮る

ムービーを撮る

準備　●モード切替スイッチ：「ビデオ」（テープに撮るとき）

■続きから撮るには
➡「ブランクサーチ」を実行する（P. 94）

■頭出しデータを入れるには
➡停止中に ナビ書込み 押す（P. 87）

お知らせ

●節電とテープ保護のため、電源は撮影停止後5分後に自動的に切れます。撮影の再開は、液晶画面を一度閉じ、再び開いてください。

●テープ残量が表示されるまで撮影開始から約10秒かかります。

テープにムービーを撮影します。
いろいろな設定を変えて撮るときは、マニュアル撮影（P. 42）をご覧ください。

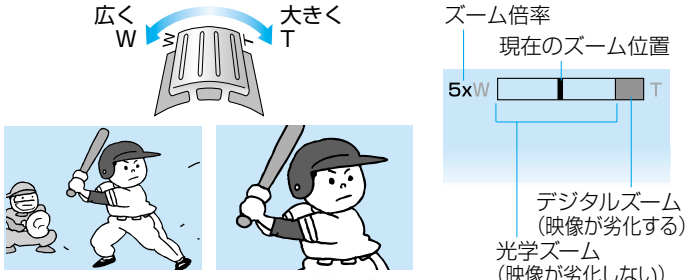
大きく／広く撮る

ズーム

撮影する範囲を調整して、被写体を大きく（望遠：T）または、広く（広角：W）撮ったりできます。
左右に動かす速さによって、ズームのスピードが変わります。

広く W　大きく T

ズーム倍率
現在のズーム位置

デジタルズーム（映像が劣化する）
光学ズーム（映像が劣化しない）

■接写したいときは ➡ W側いっぱいまで動かす。
（約5cmまでの接写ができます）

■ズーム倍率の上限を変えるには ➡ 「ズーム」（P. 86）

静止画効果を入れる

記念写真モード

ムービーの撮影中や停止中に、6秒間の静止映像を入れて、印象的な写真のような効果を出すことができます。

静止画 押す
（押した瞬間の画像が、6秒間録画）

■連写するには
➡ 「静止画」押し続ける

■静止画の演出方法を変えるには
➡ 「記念写真モード」（P. 86）

フル

ネガモード

フレーム

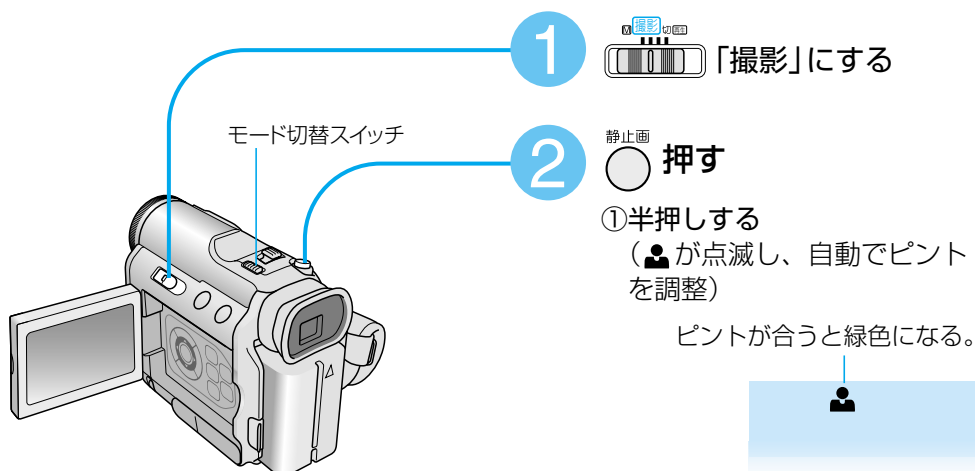
■同時にカードにも撮影するには
➡ 「記録選択」（P. 86）

オート撮影 2

カードに撮る

静止画（写真）を撮る

お買い上げ時の設定で、メモリーカードに静止画を撮影します。
静止画はプリントしたり、パソコンに取り込んだりすることができます。

準備　●モード切替スイッチ：「メモリー」（カードに撮るとき）

①半押しする
（　が点滅し、自動でピントを調整）

ピントが合うと緑色になる。

②全押しでシャッターを切る

点滅は、メモリーカードに記録中。

■画質やサイズを変えるには

➡静止画撮影メニュー（P. 86）
「画質設定」「画像サイズ」で選択

■撮った画像をすぐ見るには

➡ 「再生」にする

お知らせ

●撮影可能枚数は、お使いのカードの容量や、静止画の画質やサイズによって変わります。（撮影可能枚数 P. 101）
●定期的に静止画を撮影する「インターバルショット」（P. 86）があります。「入」を選んだあと、静止画ボタンを押すと撮影がはじまります。もう一度押すと、中止します。（長時間の野外撮影では長時間バッテリー、室内撮影ではACアダプターをお使いください）
●静止画をパソコンに取り込む方法やインターバルショットについては、別冊の『ソフトウェア取扱説明書』をご覧ください。

カードに静止画や動画を撮影します。
いろいろな設定をして撮るときは、マニュアル撮影（P. 42）をご覧ください。

動画を撮る

お買い上げ時の設定で、メモリーカードに動画を撮影します。
動画は、パソコンに取り込んでEメールで送ったりすることができます。

準備　●モード切替スイッチ：「メモリー」（カードに撮るとき）

モード切替スイッチ

1 「撮影」にする

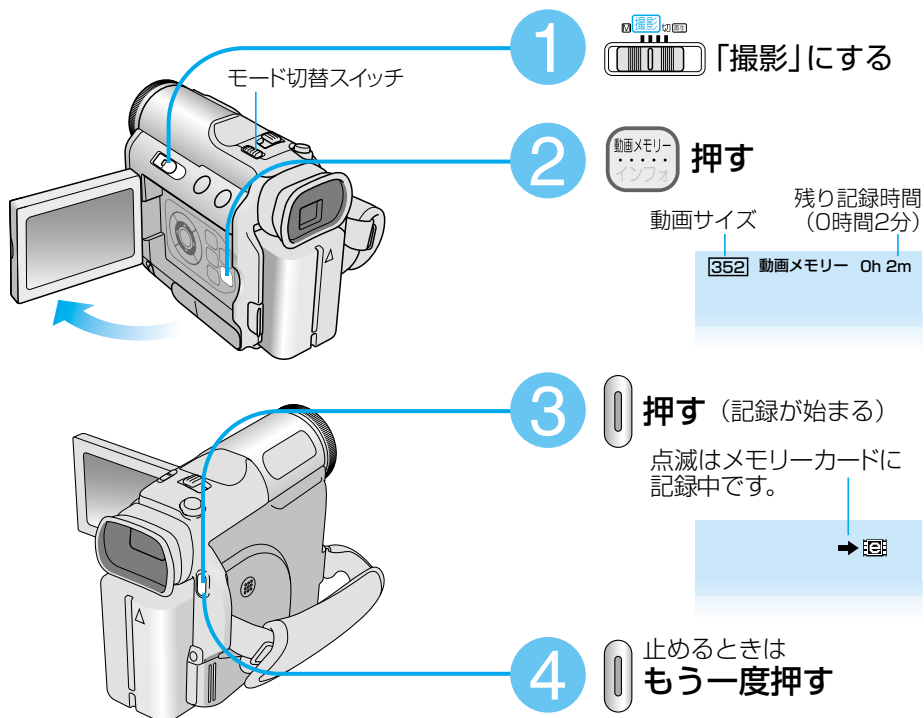
2 押す

動画サイズ　残り記録時間（0時間2分）

352 動画メモリー 0h 2m

3 押す（記録が始まる）

点滅はメモリーカードに記録中です。

4 止めるときは **もう一度押す**

■動画サイズを変えるには ➡ 「動画記録」（P. 90）

■動画撮影を終わるには ➡ 動画メモリー・インフォ 押す

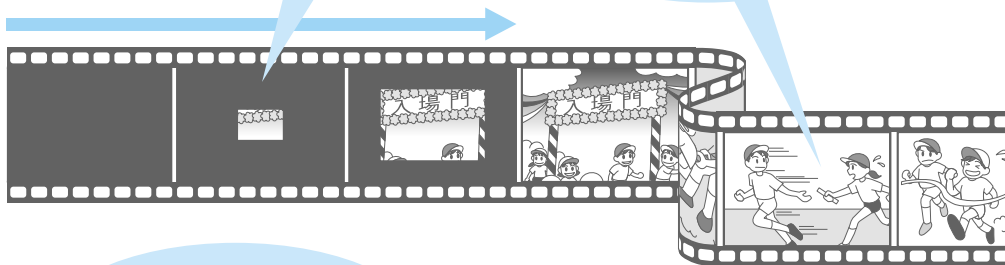
お知らせ

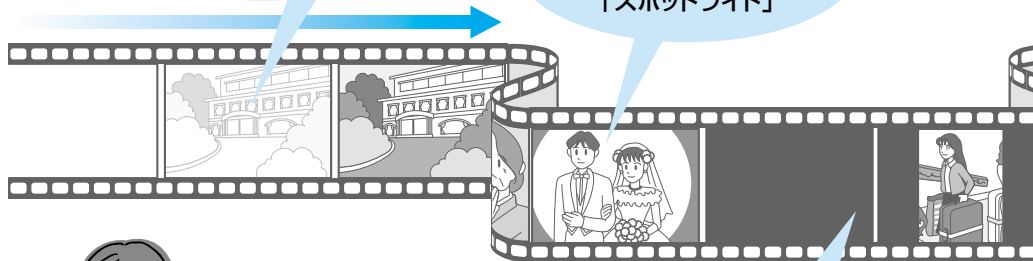
●残り記録時間がなくなった場合は自動的に記録を停止しますので、画面の残り記録時間に注意してください。
●動画をパソコンに取り込む方法については、別冊の『ソフトウェア取扱説明書』をご覧ください。

マニュアル撮影 1

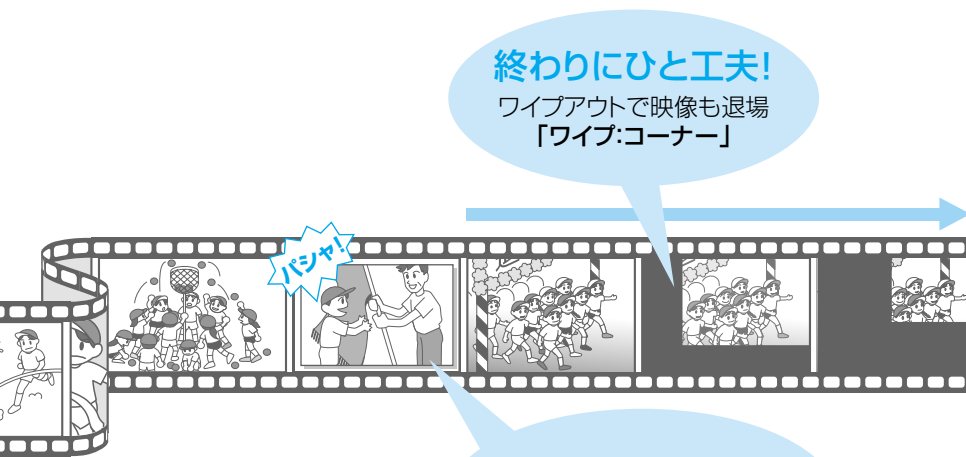
撮影効果を演出する

始まりにひと工夫!
ワイプインで映像が登場
「ワイプ:ウインドウ」

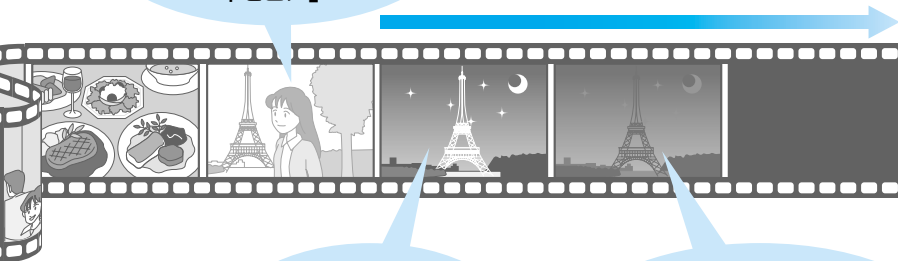
スポーツには!
動きは速くてもハッキリ撮れる
「スポーツ」

シーンの幕開けは…
フェードインで美しく演出
「フェーダー:白」

スポットライト
照明の中の人物を美しく!
「スポットライト」

色々な効果を
液晶画面で見るには
デモモードが便利!
(P. 90)

違う場面の境目に
続けて撮っても自然につながる
「ワイプ:シャッター」

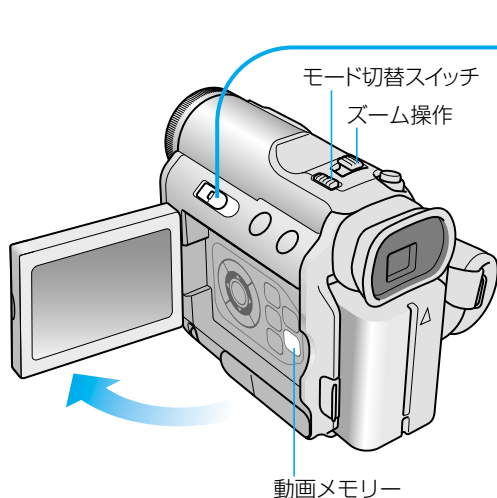
マニュアル撮影（P. 42）では、目的やシーンに合わせた撮影ができます。効果の種類や設定方法は、「撮影効果メニュー」（P. 84）をご覧ください。

終わりにひと工夫！
ワイプアウトで映像も退場
「ワイプ:コーナー」

シーンを印象的に！
6秒間の静止映像を入れて
「静止画効果」

セピア色の思い出
古い映画の雰囲気で・・・
「セピア」

夜景もキレイ！
自然な映像で
「夜景」

シーンの幕引きに…
フェードアウトで更けてゆく夜を
「フェーダー:黒」

マニュアル撮影 2 設定を変えて撮るⅠ（ピント合わせ）

準備　●モード切替スイッチ：「ビデオ」（テープに撮るとき）、「メモリー」（カードに撮るとき）

1 「M」にする

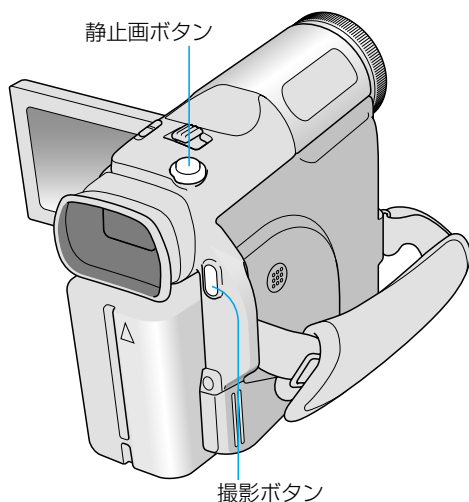
2 **お好みに変える**

■ピント合わせを手動にする
P. 43

■暗い所で撮る
P. 44

■逆光や明るさを補正する
P. 44,45

■映像に効果をつける
P. 84

■その他の設定を変える
P. 82

3 **撮影する**

■ムービーを撮るとき
押す

■静止画を撮るとき
押す

■動画を撮るとき
→ 押す

お知らせ

●変更された設定はマニュアル撮影時にのみ有効です。
手順①で「撮影」に合わせると、一時的にオート撮影に戻ります。（変更内容は保存されています）

通常のオート撮影を解除して、撮影の目的やシーンに合わせて撮るときやピントを手動で調整したいときは、マニュアル撮影をします。

ピント合わせを手動にする

マニュアルフォーカス

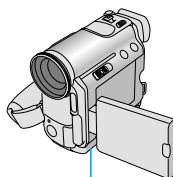
通常の自動撮影(オートフォーカス)ではピントが合いにくい場合や、画面端の被写体にピントを合わせたいときなどは、手動で合わせます。

1 フォーカスレバーを
押し、

2 上下に動かして
ピントを合わせる

フォーカスレバー

近くに合わせる

遠くに合わせる

■オートフォーカスに戻すには➡ 押す

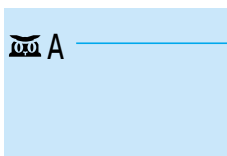
お知らせ

●ズーム操作時に手動でピント合わせをするときは、
①ピントを合わせる前に望遠(T)側にして、
②ピントを合わせてから広角(W)側に調節するとピントがずれません。

設定を変えて撮るⅡ 明るさ

暗い所で撮る ナイトアイ

薄暗い所での撮影は、より多くの光を取り込んで（最大30倍まで）明るく写すことができます。

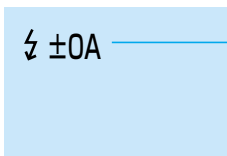
ナイトアイ 押す

ナイトアイ動作中
・明るい場所では「A」の表示が消え、一時的に通常撮影に戻る。

■解除するには ➡「ナイトアイ」もう一度押す

・ナイトアイ動作中は、三脚などで固定して撮影する。（シャッタースピードを遅くするため、ブレやすい）

フラッシュを設定する フラッシュ

静止画撮影時、フラッシュを発光させないときや、赤目を軽減したいときに変更します。

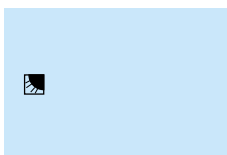
フラッシュ 押す（押す度に設定が切り替わる）

- ⚡±0A：周囲が暗いと自動で発光
- 👁⚡±0：2回の連続発光で赤目を軽減
- ⚡±0：必ず発光させる
- （なし）：発光させない

■明るさを変えるには ➡「フラッシュ明るさ」(P. 88)

・⚡表示がないときは発光しない。（明るさが十分であるなど）
・⚡点滅中はフラッシュの充電中です。（点灯後に撮影）
・オート撮影時は自動で発光します。（表示は「⚡」のみ）

逆光で撮る 逆光補正

太陽に向かって撮影したとき、被写体が暗くなるのを補正します。（うまくいかないときは、明るさを補正する）

逆光補正 押す

■解除するには➡「逆光補正」2回押す

通常のオート撮影で思い通りの明るさが得られないとき、マニュアル撮影（P. 42）ではいろいろな方法で明るさを調整して撮ることができます。

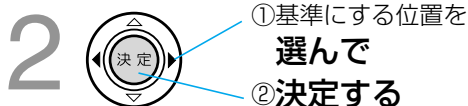
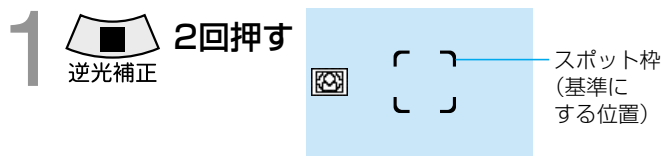
自動で最適な明るさにする

スポット明るさ補正

逆光補正がうまくいかないときや、画面の中心ではない部分を明るさの基準にして調整したいときなど、基準にする位置を決めて自動で最適な明るさに補正します。

1 逆光補正 2回押す

スポット枠（基準にする位置）

2 ①基準にする位置を選んで ②決定する

■解除するには→「逆光補正」もう一度押す

■固定するには→決定 2秒以上押す（🄻が表示）

・動きのある被写体やズーム操作をするときは、明るさを固定すると一定の明るさで撮影できます。

手動で最適な明るさにする

明るさ補正

周囲の明るさによっては、「スポット明るさ補正」や「スポットライト」（P. 84）で最適な明るさにならないことがあります。その場合に手動で明るさを補正します。

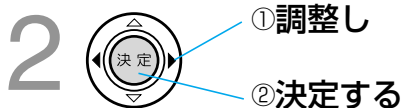
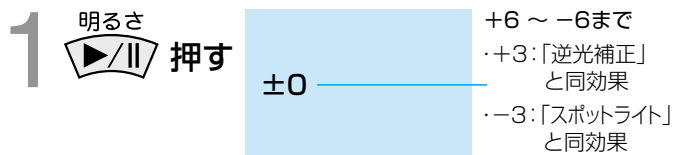
1 明るさ ▶/Ⅱ 押す

±0

+6 ～ −6まで

・+3：「逆光補正」と同効果

・−3：「スポットライト」と同効果

2 ①調整し ②決定する

■解除するには→「明るさ」もう一度押す

■固定するには→決定 2秒以上押し、決定 押す

（🄻と表示中は数値変更が可能）

再生 1

ムービーを見るⅠ（頭出し）

準備　●モード切替スイッチ：「ビデオ」

音量スイッチ

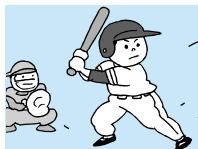
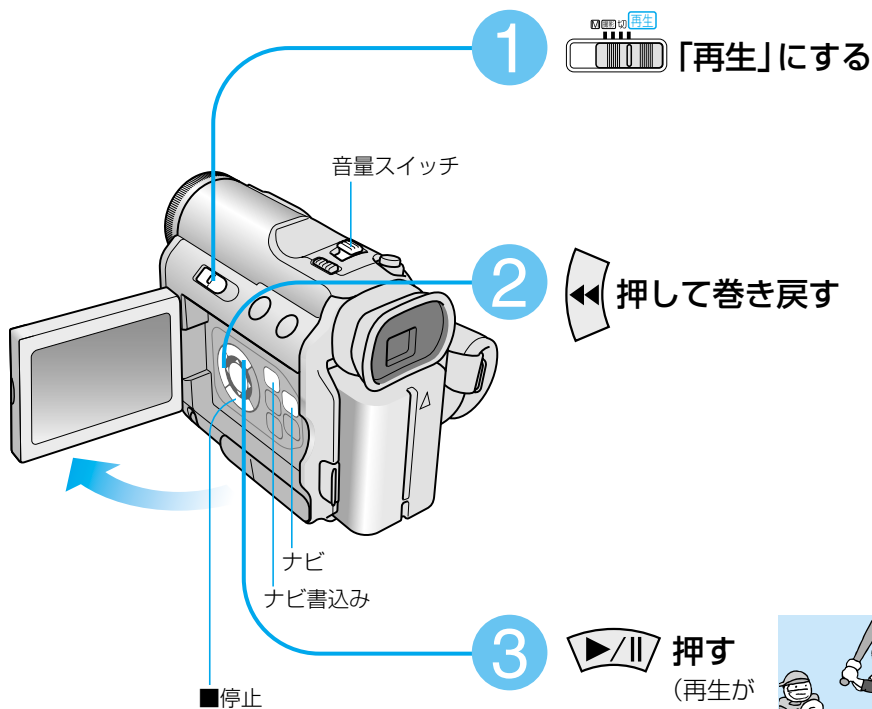
1 「再生」にする

2 押して巻き戻す

ナビ

ナビ書込み

3 押す
（再生が始まる）

■停止

■スピーカー/ヘッドホンの音量を調整するには

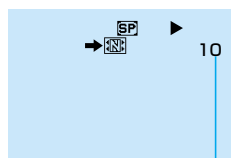
■停止するには➡「■」

テープに撮影したムービーを再生します。
頭出しを簡単にするには、ナビ機能が便利です。

頭出しの位置を指定する

ナビ書込み

ナビ機能で頭出しをするには、頭出し位置（ナビ）を指定する必要があります。
ナビはメモリーカード内に記録されますので、テープとカードは必ず同じ組み合わせでお使いください。

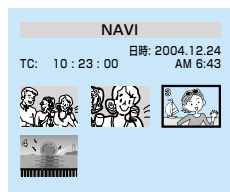
再生中に
押す
（押した瞬間の映像がナビ画像として記録される）

ナビ記録可能枚数
（10枚以下になると表示）

■削除するには➡「ナビ画像削除」（P. 48）

一覧から簡単頭出し

ナビ

書き込んだナビ画像の一覧から再生したい場面の画像を選ぶだけで、簡単に頭出しができます。

1 インデックス・ナビ 再生中または停止中に
押す
（ナビ一覧画面が表示）

2

①見たい場面の画像を
選んで
②**決定する**
（自動で頭出し、再生する）

■一覧表示を終わるには➡ もう一度押す

再生 2

ムービーを見るⅡ（頭出し削除）

頭出しの位置指定を消す

ナビ画像削除

不要となったナビ画像を削除します。削除すると元に戻せません。

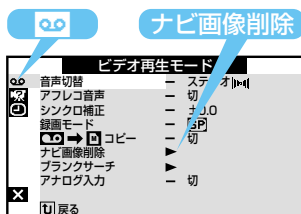
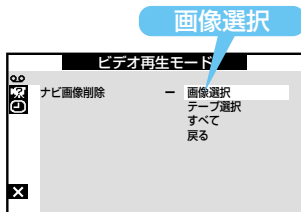
1 メニュー **押す**
（メニューを表示）

2

①「🎞」を**選び決定し、**
②「ナビ画像削除」を**選び決定する**

ナビ画像削除

ビデオ再生モード
音声切替 － ステレオ
アフレコ音声 － 切
シンクロ補正 － ±0.0
録画モード － SP
🎞➡M コピー －
ナビ画像削除 ▶
ブランクサーチ ▶
アナログ入力 － 切
戻る

3

①「画像選択」を**選び**
②**決定する**

■テープのナビ画像を全て消すには➡「テープ選択」選ぶ
■ナビ画像を全て消すには➡「すべて」選ぶ

4

①ナビ画像を◀▶で**選び**
②「する」を▲▼で**選んで**
③**決定する**

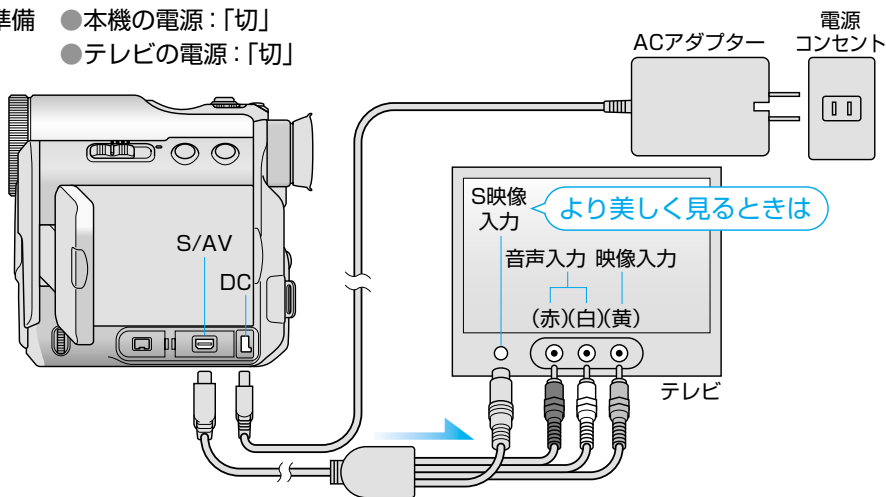
■続けて削除するには➡ 手順4を繰り返す
■削除を終わるには➡ ⏎（戻る）で決定、✖（終了）で決定し、再生画面に戻る。

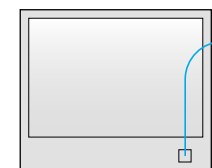
●削除中はカードを取り出したり、電源を切らないでください。（故障の原因）

再生 3 テレビで見る

接続する

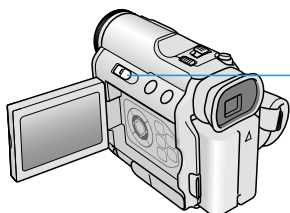
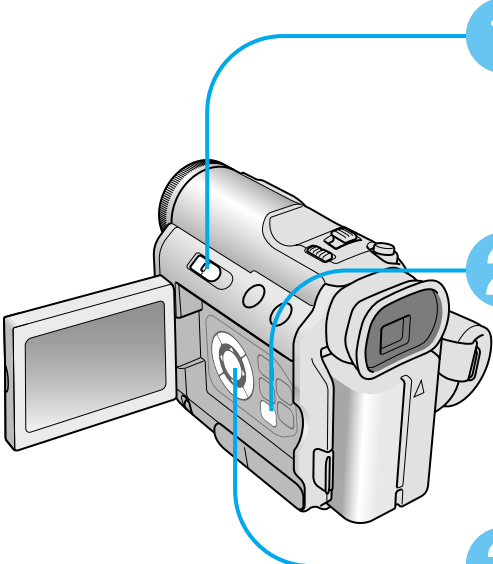
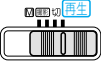
家族や大人数が集まって見るときなどに、大画面でムービーや静止画を楽しむことができます。

準備　●本機の電源：「切」
　　　●テレビの電源：「切」

お知らせ　●お使いのテレビの説明書も合わせてご覧ください。

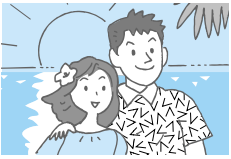
見る

1 テレビの
電源を入れ、

2 テレビのチャンネルを、
本機を接続した外部入力に合わせ、
（ビデオ1、ビデオ2など）

3

「再生」にする

■ムービーを見る（P. 46）
■静止画を見る（P. 50）
■動画を見る（P. 52）
■日付などの表示を消すには（P. 92）

再生 4

静止画を見る
（写真）

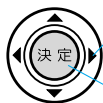
準備　●モード切替スイッチ：「メモリー」

■別の画像を見るには
➡「◀◀」（戻る）、「▶▶」（進む）

カードに記録した静止画を再生します。

一覧で表示する

インデックス

押す
（一覧で表示される）

■大きく表示するには

→ ①見たい静止画を **選び**

②**決定する**

連続で再生する

スライドショー

押す
（スライドショーが始まる）

■停止するには → 「■」

■逆再生するには → 再生中に「◀◀」

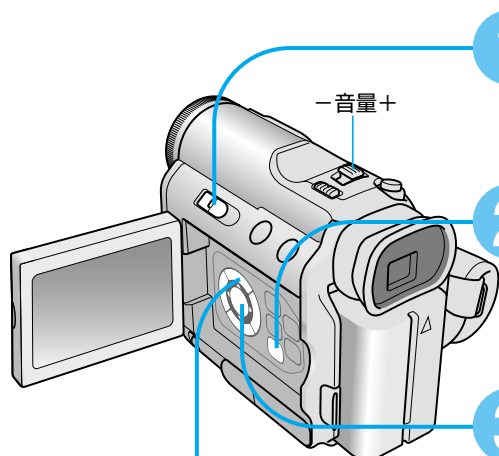
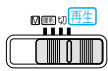
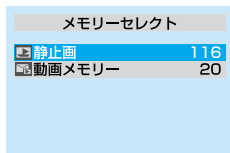
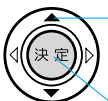
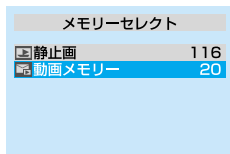
静止画の情報を見る

インフォ

押す
（静止画の情報が表示）

■元の画面に戻るには → もう一度押す

再生 5 動画を見る

準備　●モード切替スイッチ：「メモリー」

■別の動画を見るには
➡「◀◀」（戻る）、「▶▶」（進む）

■停止するには ➡「■」

■音量を調整するには ➡

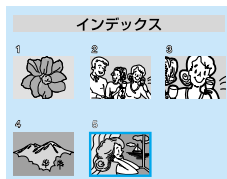
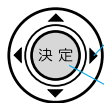
小さく　大きく

−音量＋

カードに記録した動画を再生します。

一覧で表示する

インデックス

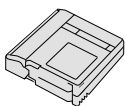
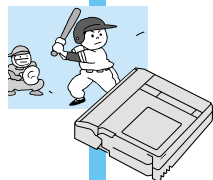
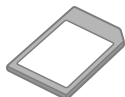
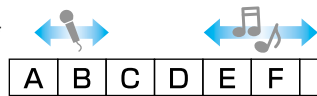
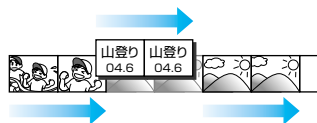
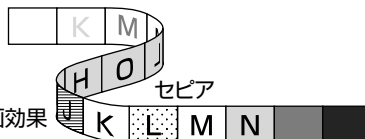
押す
（一覧で表示される）

■画面全体に表示するには

見たい動画を
選び
決定する

動画の情報を見る

インフォ

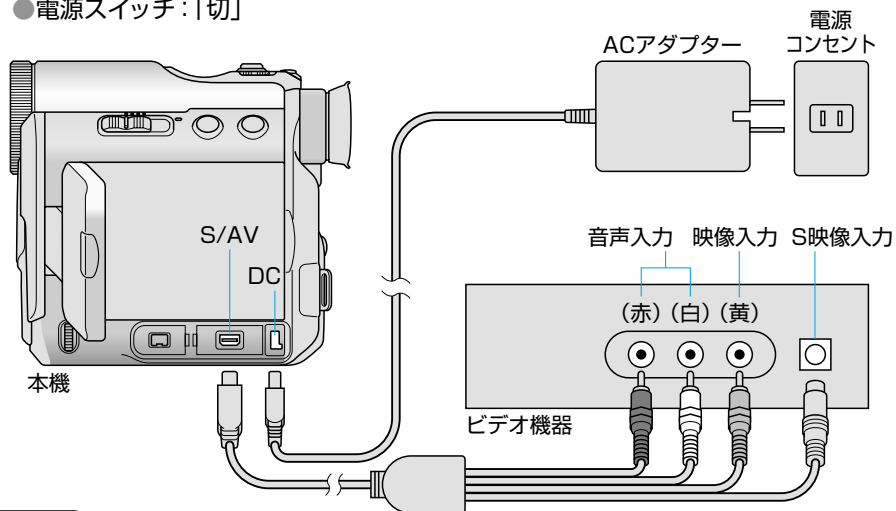
押す
（動画の情報が表示）

テープ編集 1

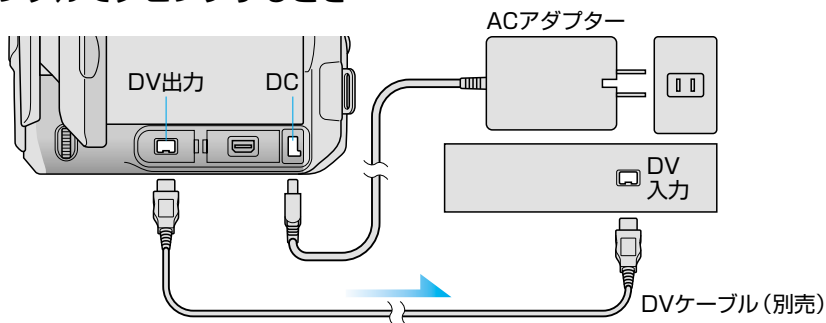
いろいろな編集

テープに撮影したムービーは、いろいろな方法で編集することができます。映像を直接加工したり、ダビングやコピーを利用したりできます。

編集のしくみ		ページ
追加した音声 / 元の音声 (A B C D E F)	●元の音声はそのまま、ナレーションやBGMを追加！ ●再生する音声も後から選べる。	62
(編集後) 山登り 04.6	●元の映像の上に、タイトルや場面を挿入！	
映画効果 セピア (K L M N)	●効果をつけた映像をダビング！ ●場面の切れ目を自然に… ●アップや雰囲気づくりも簡単。	19 ↓ 56
(再生中) A B C D E F → (ダビング後) A D E H I J	●不要な場面は飛ばしてダビング！	56
(再生中) A B C D E F → (自動編集後) セピア E F A B C	●必要な場面を選んで順番を設定。ワンボタンで効果も選べる！ ●あとは自動でダビング！	64
ベストショット！	●写真プリントができる！ ●パソコンに取り込んで、メールやホームページに活用！	60
ベストシーン！	●お気に入り場面を選んで動画に！ ●パソコンに取り込んで、メールやホームページに活用！	

テープ編集 2

ダビングする

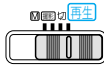
接続する

準備　●モード切替スイッチ：「ビデオ」
●テープを入れて、巻戻しておく。
●電源スイッチ：「切」

お知らせ

●ビデオ機器側の説明書も合わせてご覧になり、接続や操作を確認しておいてください。

■デジタルでダビングするとき

お知らせ

●デジタルでダビングしたときは、設定した効果やタイムコードはダビングされません。

本機のテープから、ビデオ機器のディスクやテープへダビング（複製）して保存できます。一時停止などを使うと、編集された映像がダビング先へ保存されます。

ダビング（複製）する

再生側（本　機）	録画側（ビデオ機器）
	（ビクター製ビデオデッキの場合）

1 液晶パネルを開き

「再生」にする
（電源が入る）

●映像に効果をつけるには
➡リモコンの「演出効果」押して効果を選ぶ。

2 ▶/II **押す**
（再生が始まる）

●選んだ効果を消すには
➡リモコンの「入/切」押す。

●再生画面を拡大するには
➡リモコンの「T」（大きく）、「W」（広く）押す。

3 ダビングを始めるところで
録画 ボタンを押す

●途中で飛ばしたい部分があるときは
➡ 一時停止 ボタン
（録画を一時停止）
再生 ボタン
（録画再開）

4 ダビングを終わるところで
停止 ボタンを押す

5

押す
（再生が止まる）

■日付などの表示を消すには

➡手順①の後、再生日時／表示メニュー（P. 92）
●画面表示切替→「切」または「モニター」
●日時表示→「切」
●タイムコード→「切」

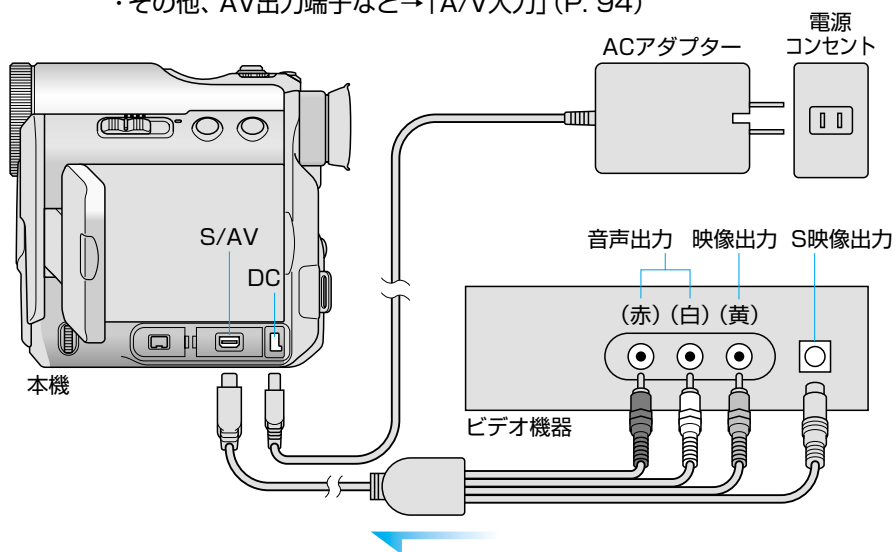
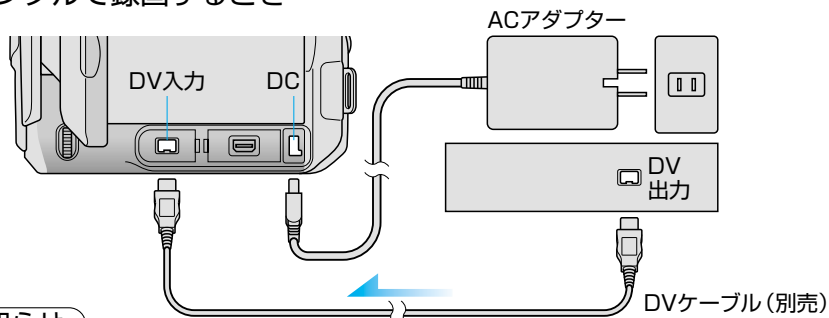
お知らせ

●本機で無記録部分や映像の乱れた部分を再生すると、異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。

テープ編集 3

録画する

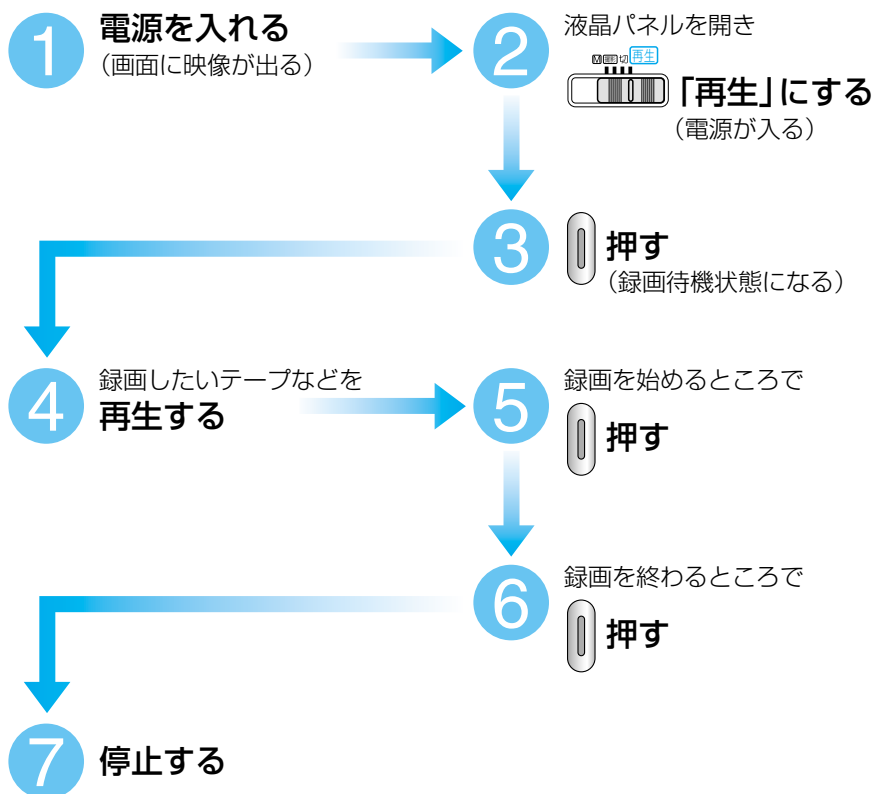
接続する

準備　●モード切替スイッチ：「ビデオ」
●録画用のテープを入れておく。
●ビデオ再生モードメニュー（📼）の「アナログ入力」：
・S出力端子に接続したとき→「S入力」（P. 94）
・その他、AV出力端子など→「A/V入力」（P. 94）

■デジタルで録画するとき

お知らせ

●「アナログ入力」の設定は「切」にしてください。

今までにビデオ機器で録りためたビデオテープやテレビの
映像などを、本機のテープにデジタル録画します。

録画する

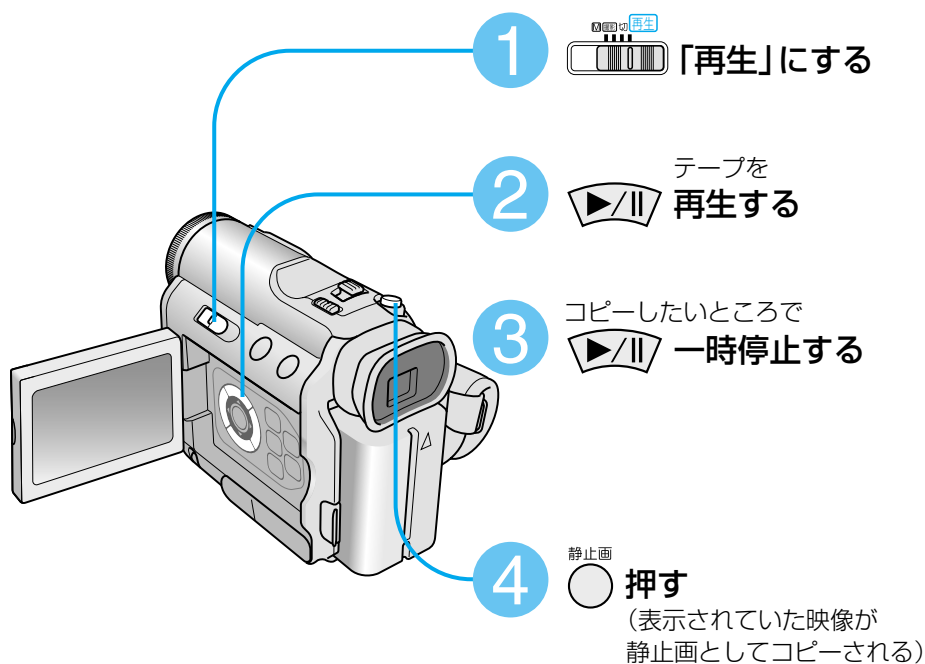
再生側（ビデオ機器）	録画側（本機）
1 **電源を入れる**（画面に映像が出る）	2 液晶パネルを開き「再生」にする（電源が入る）
	3 押す（録画待機状態になる）
4 録画したいテープなどを**再生する**	5 録画を始めるところで押す
	6 録画を終わるところで押す
7 **停止する**	

お知らせ

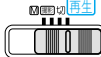
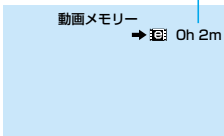
●お使いのビデオデッキなどや再生するテープにより、映像が乱れることがあります。
●録画したテープを再生するとき「アナログ入力」を「A/V 入力」または「S 入力」に設定したままでいると、お使いのビデオデッキや再生するテープにより映像が乱れることがあります。（「アナログ入力」を「切」に戻す）

コピーする

静止画（写真）として

ムービーからお好みの場面を選び、静止画にしてカードにコピーします。

準備　●モード切替スイッチ：「ビデオ」
　　　●ビデオ再生モードメニュー（ ）の「 ➡ コピー」：「入」(P. 94)

お知らせ

●コピー後の画像サイズは、640×480ドットです。
●静止画をパソコンに取り込むには、別冊の『ソフトウェア取扱説明書』をご覧ください。

テープに撮影したムービーを、静止画（写真）や動画として
カードにコピーできます。カードからパソコンに取り込めば、
電子メールで送るなど、いろいろな用途に使えます。

動画として

ムービーからお好みの場面を選び、動画としてカードにコピーします。

準備　●モード切替スイッチ：「ビデオ」

1 「再生」にする

2 テープを **再生する**

3 **押す**（コピー待機になる）

4 コピーを始めるところで **押す**

残り記録時間（0時間2分）

動画メモリー
➡ 0h 2m

5 コピーを終わるところで **もう一度押す**（コピーを終わると手順3に戻り、コピー待機）

■コピーを終了するには
➡「動画メモリー」または「■」押す

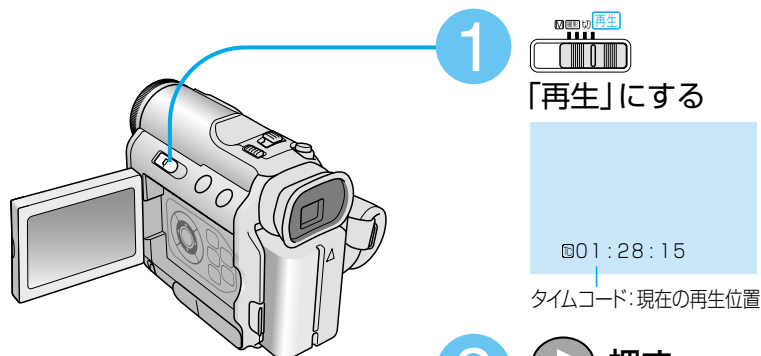
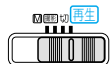
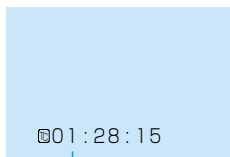
■動画サイズを変えるには
➡「動画記録」(P. 90)

お知らせ

●本機のスピーカーの音量を動画を記録中に変えても、記録される音量は変わりません。
●動画をパソコンに取り込む方法については、別冊の『ソフトウェア取扱説明書』をご覧ください。

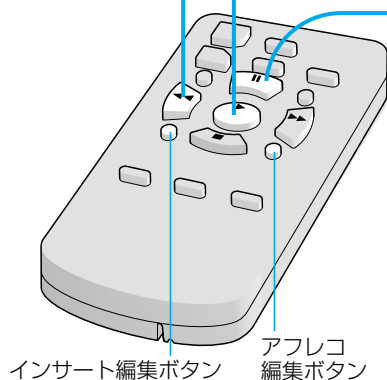
テープ編集 5

映像や音声を追加する

準備　●モード切替スイッチ：「ビデオ」
　　　●日時／表示メニュー（[icon]）の「タイムコード」：「入」（P. 92）

お知らせ

●操作の前に、あらかじめ編集を始める場面と終わる場面のタイムコードを確認しておくと便利です。

●テープの無記録部分や誤消去防止ツマミが「SAVE」側になっている場合は、編集できません。

映像を追加する　インサート編集

音声を追加する　アフレコ編集

■アフレコ編集で外部機器を使うには ➡

①CDプレーヤーなどの外部機器をS/AV端子に接続。

②ビデオ再生モードメニュー（[icon]）の「アナログ入力」：「AV入力」または「S入力」（P. 94）

テープに撮影したムービーには、タイトルなどの別の映像やナレーション、効果音などの音声を追加することができます。

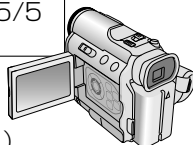
タイトルなど別の場面を追加で撮影できます。追加した映像は、元の映像に上書きされます。（LPモード（P. 86）で撮影されたムービーは追加できません）

1 一時停止 押しながら インサート 押す（撮影待機になる）

2 追加する映像の撮影準備をして
スタート/ストップ 押す（撮影が始まる）

ピクニック
'04/5/5

3 スタート/ストップ もう一度押す（撮影を終わる）

4 停止 押す（編集を終わり、再生画面に戻る）

■追加する映像に効果をつけるには
「場面切替」、「プログラムAE」（P. 84）

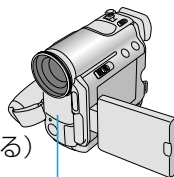
ナレーションやBGM、効果音などを追加で録音できます。再生時には元の音声や追加した音声を選んで再生できます。（LPモードや16BIT（P. 86）で撮影されたムービーは追加できません）

1 一時停止 押しながら アフレコ 押す（録音待機になる）

12BIT

2 再生 押す（録音が始まる）

（マイクに向けて音声を吹き込む）

3 停止 押す（録音を終わり、再生画面に戻る）

マイク

■追加した音声を聞くには
「アフレコ音声」を「入」または「ミックス」（P. 94）

準備
すぐ使う
撮影・再生
編集
困ったとき
必要なとき

テープ編集 6 自動編集する I 登録・接続

リモコンを登録する

自動編集を始める前に、編集用リモコンにお使いのビデオデッキを登録して、リモコンでビデオデッキも操作できるようにします。

1 ビデオデッキの電源を切る

2 リモコンの 設定 「設定」押したまま
対応表を見て登録ボタン(2つ)を続けて押す
(ビデオデッキの電源が入ると、リモコン登録が完了)

■うまくいかないときは ➡ 対応表の( )内の組み合わせで手順2をやりなおす。

●お使いのビデオデッキとの対応表

メーカー名	リモコンの登録ボタン
ビクター	●II → ◀◀
	(●II → ■)
	(●II → シフト)
アカイ	■ → ▶▶
	(■ → ▶)
	(ここから/ここまで → ここから/ここまで)
サンヨー	■ → ▶
	(シフト → II)
	(シフト → プログラム編集 入/切)
	(ここから/ここまで → ●II)
シャープ	◀◀ → II
	(◀◀ → プログラム編集 入/切)
ソニー	■ → II
	(■ → プログラム編集 入/切)
	(シフト → ●II)
	(シフト → ◀◀)

メーカー名	リモコンの登録ボタン
東芝	■ → ●II
	(■ → ◀◀)
NEC	シフト → ここから/ここまで
	(シフト → 修正)
日立	■ → ■
	(■ → シフト)
フナイ	ここから/ここまで → シフト
松下	◀◀ → シフト
	(◀◀ → ここから/ここまで)
	(◀◀ → ◀◀)
	(●II → ▶)
	(◀◀ → 修正)
三菱	■ → ここから/ここまで
	(■ → 修正)
LG	◀◀ → ◀◀
SAMSUNG	●II → ▶

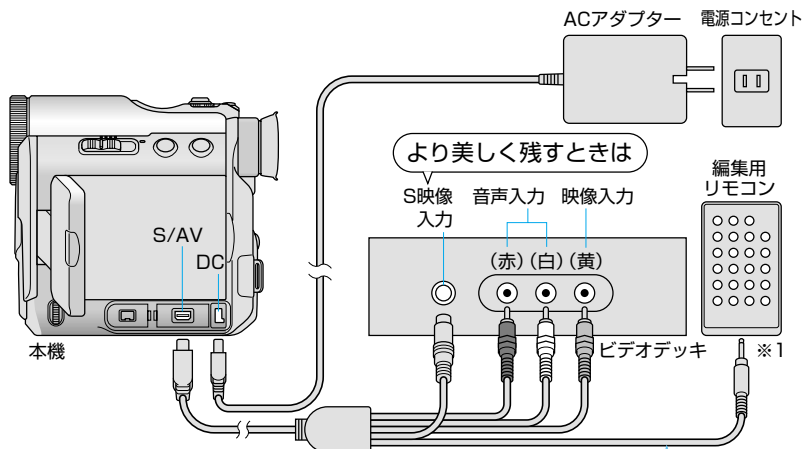
お知らせ

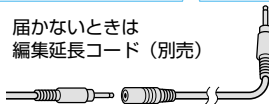
●リモコンの電池がなくなると登録が消えてしまいます。電池交換後、登録をやりなおしてください。

●ビデオデッキの機種によっては登録できないものや、特定のボタンだけ操作できないものもあります。その場合は、直接ビデオデッキを操作してください。

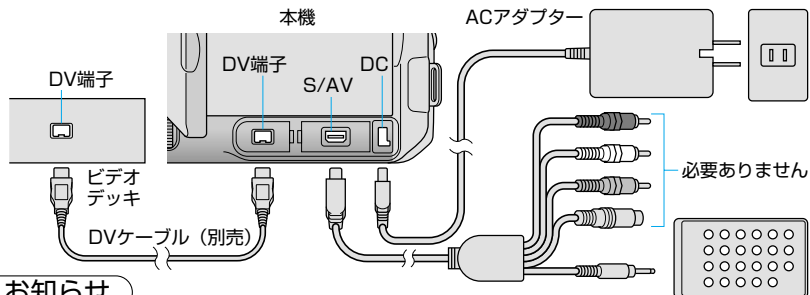
編集用リモコン(別売:RM-V717)を使って好みの場面の並びかえや、効果を入れてのダビングが簡単にできます。
まずは、リモコンの登録と接続が必要です。

接続する

準備　●モード切替スイッチ:「ビデオ」(テープに撮るとき)
　　　●日時/表示メニュー(◙)「画面表示切替」:「モニター」(P. 92)

※1:ビデオデッキがビクターのリモートポーズ端子付きのときは、リモコンのかわりにビデオデッキのリモートポーズ端子に接続します。

届かないときは
編集延長コード(別売)

お知らせ

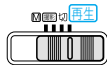
●ビデオデッキ側の説明書も合わせてご覧になり、操作や接続を確認しておいてください。

■デジタルでダビングするとき(画質が劣化しません)

お知らせ

●デジタルでダビングするときは、効果がつけられません。

準備
すぐ使う
撮影・再生
編集
困ったとき
必要なとき

テープ編集 7

自動編集するⅡ （シーン設定）

自動編集では、編集したいテープを再生しながらお好みの場面をシーンとして設定していきます。シーンの切れ目や、映像自体に演出効果を加えることもできます。

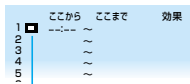
シーンを設定する

1 始まりの効果を選ぶ

■シーンの始まりに効果を入れたいとき

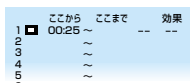
「場面切替」押す
（押す度に切替わる）

・効果を入れないときは「－－」にする。

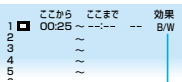
場面切替（P. 84）

2 シーンにしたい場面を再生

「▶」押す
（再生される）

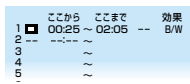
3 シーンの開始点を決める

「ここから/ここまで」押す
（開始点が設定される）

4 映像の効果を選ぶ

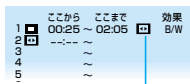
■映像に効果をつけたいとき

「演出効果」押す
（押す度に切替わる）

演出効果（P. 19）

5 シーンの終了点を決める

「ここから/ここまで」押す
（終了点が設定される）

6 終わりの効果を選ぶ

■シーンの終わりに効果を入れたいとき

「場面切替」押す
（押す度に切替わる）

場面切替（P. 84）

・終わりの効果を選ぶと、自動的に次のシーンの始まりに同じ効果が設定される。

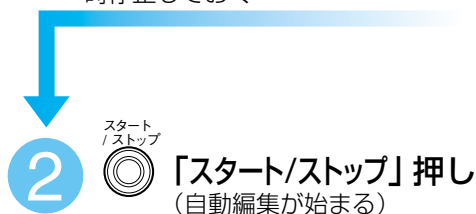
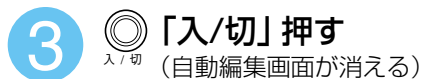
■続けて次のシーンを設定するには➡手順1～6を繰り返す

■修正するには➡「修正」押す（押す度に後ろから順に設定内容を消去）

テープ編集 8

自動編集するⅢ（ダビング）

ダビングする

この操作は全て編集用リモコン（別売：RM-717）で行います。
本機やビデオデッキの受光部に向けて操作してください。

■中止するときは➡「■」押す（設定したシーンなどは消去されない）
または「入/切」押す（設定したシーンなどは消去される）

■タイミングにズレが起こるときは➡「シンクロ補正」（P. 69）

お知らせ

●自動編集中は本機を操作しないでください。
（ビデオデッキがダビング待機状態になり、自動編集が中止される）
●シーンの開始や終了場面の前後に無記録部分があると、青い画面を記録することがあります。

シーン設定（P. 66）でシーンや効果を設定し終わったら、ビデオデッキへのダビングを始めます。お使いのビデオデッキによって起こるズレは、「シンクロ補正」で修正できます。

自動編集時のズレを補正する「シンクロ補正」

自動編集のダビング時、始まりや終わりのタイミングがズレてうまくいかなかったときに、手動で補正します。

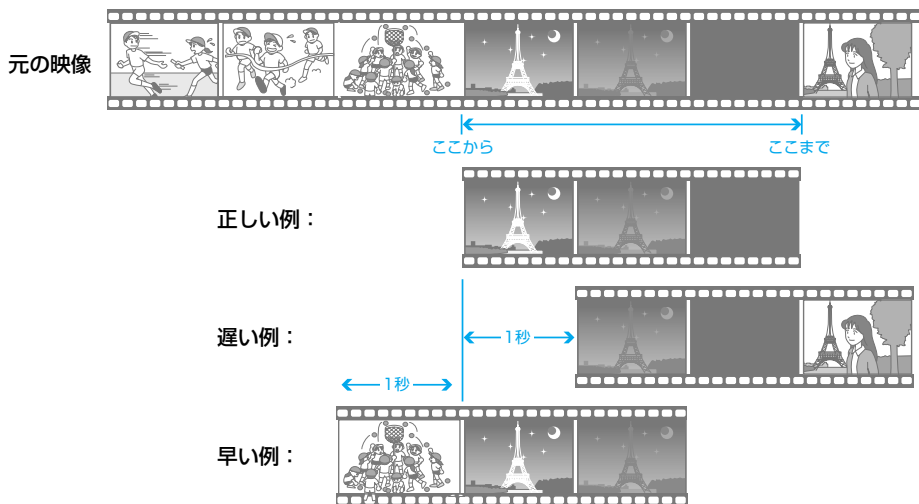
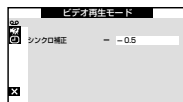
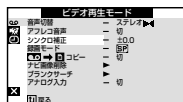
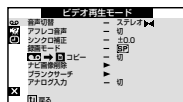
ズレが何秒間か確認する

・わかりづらい場合は、切替わりのわかりやすい場面を選び、ためしに自動編集してみましょう。

元の映像

押す

（メニュー画面を表示）

3

①（ビデオ）選んで
②決定し、

①「シンクロ補正」を選んで
②決定し、

①補正する値を設定し
②決定する

例）開始のタイミングが
・1秒遅い→＋1
・1秒早い→－1

■設定が終わったら➡
（戻る）で決定 ✕（終了）で決定し、
再生画面に戻って自動編集をやり直す。

カード整理 1

静止画を削除する

（写真）

準備　●モード切替スイッチ：「メモリー」

■削除を終わるには

➡「戻る」で決定、「終了」で決定し、再生画面に戻る

お知らせ

●削除した静止画は元には戻りません。削除する前に、よく内容を確認してください。

●プロテクト（P. 72）された画像は削除できません。プロテクトを解除してから操作してください。

メモリーカードの容量がいっぱいになったときや、パソコンなどに取り込んで保存した後は、不要な画像を削除しましょう。

一枚ずつ選んで削除

表示ファイル削除

①「表示ファイル」を**選び**
②**決定し、**

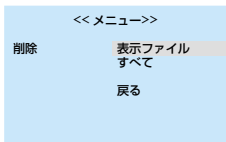
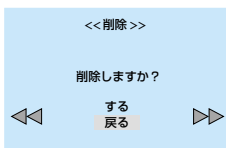
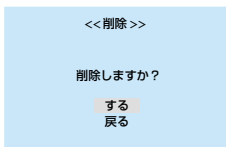
<< メニュー>>
削除　表示ファイル
すべて
戻る

削除する静止画を**選び、**

<<削除>>
削除しますか？
する
戻る

3

①「する」を**選び**
②**決定する**
（表示中の静止画を削除）

<<削除>>
削除しますか？
する
戻る

全ての画像を削除

すべて削除

1

①「すべて」を**選び**
②**決定し、**

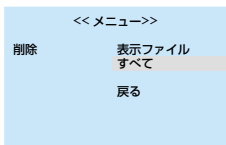
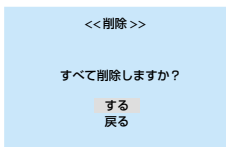
<< メニュー>>
削除　表示ファイル
すべて
戻る

2

①「する」を**選び**
②**決定する**
（すべての静止画を削除）

<<削除>>
すべて削除しますか？
する
戻る

カード整理 2

いろいろな整理

準備　●モード切替スイッチ：「メモリー」

1

「再生」に合わせ
（静止画や動画を表示）

2

押す（再生用メニューが表示）

3

①メイン
メニューを
▲▼で**選んで**
②**決定する**

メインメニュー
<<メニュー>>
プロテクト
削除
DPOF
番号リセット
フォーマット
画面表示
画面明るさ
終了

4

①サブ
メニューを
▲▼で**選んで**
②**設定する**

5

①画像を
◀▶で**選び**
②「する」を
▲▼で**選び**
③**決定する**

■操作が終わったら ➡ （戻る）で決定、✖（終了）で決定し、再生画面に戻る

	メインメニュー
メモリー再生モード	プロテクト
	削除
	DPOF（静止画のみ）
	番号リセット
	フォーマット
	画面表示（静止画のみ）
	画面明るさ

メモリーカードに撮影した静止画や動画を整理します。
誤消去防止の「プロテクト」や、あらかじめプリント枚数を
設定できる「DPOF」などが便利です。

サブメニュー	ページ
●表示ファイル　：表示した画像を保護する、または保護をはずす。 ●すべてプロテクト：すべての画像を保護する。 ●すべて解除　：すべての画像の保護を解除する。	–
●表示ファイル　：表示した画像を削除する。 ●すべて　：すべての画像を削除する。	70
●表示ファイル　：静止画とプリント枚数（最大15 枚）を指定して印刷する。 ●すべて1 枚　：すべての静止画を1 枚ずつプリントする。 ●リセット　：すべての静止画のプリント枚数を0枚に戻す。 ・DPOF（Digital Print Order Format）対応のプリンターの場合、カード内の選択された静止画を設定した枚数だけ、自動的に印刷することができます。 ・静止画が1000枚以上あるとDPOF設定できません。	–
新たにフォルダを作成し、「0001」からはじまるファイル名をつけて記録する。 これまでの静止画とこれから撮影する静止画の区別がつけやすくなる。	–
メモリーカードのなかにある静止画や動画、頭出しデータをすべて消去する。 ・万一、カードの読み書きができなくなるなどの不具合が生じた場合は、フォーマットすることで機能を回復できることがあります。 ・フォーマットすると、プロテクトしたファイルも消去されます。	29
●入切：モード表示（ ）、フォルダ番号とファイル番号（100-0001 など）、バッテリー残量表示（ ）の表示や非表示を設定する。	–
画面の明るさを調節する。	–

故障かな!?

再生中

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
 映像に ノイズが出たり 音声がおかしい ●モザイク画 （ブロック状の ノイズ）が出る。 ●黒色やモザイク画 の横しまが出る。 ●音声が途切れる。 ●音や映像が出ない。 ●青い画面になる。 	●ビデオヘッドが汚れています。 ➡ミニDVヘッドクリーナー（別売）でクリーニングする。 ➡終わったら、撮影や再生をして確認する。 ミニDVヘッド クリーナー （M-DVSCL）別売 ご注意 ●長時間繰り返しクリーニングしない。（ヘッドが磨耗します） ●詳しくはヘッドクリーナーの説明書をご覧ください。 ■**数回クリーニングしても正常に再生されないとき** ➡撮影時にビデオヘッドが汚れていたと考えられます。 ■**美しく撮影するために…** ●クリーニングカセットを持ち歩く。 ●撮影する前に試し撮りをする。 確認は必ず再生画像でしてください。撮影時に液晶画面やファインダーに表示されている映像では、汚れなどの確認はできません。 ●1ヶ月に1回は使用する。 ●約1000時間の使用を目安に、定期点検に出す。 （お買い上げ店またはビクターサービス窓口へ）	―
映像が乱れる	●テープの無記録部分では映像が乱れることがあります。故障ではありません。	―
巻戻しや 早送りできない	●電源スイッチを「再生」に合わせる。	46
テレビで 再生されない	●テレビの入力切り換えでビデオ用に設定する。	49

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。

➡まず電源（バッテリー、AC アダプターなど）をはずし再度取付ける。
➡それでも不具合があるときは次の処置をする。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	電源が入らない	●電源コードを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。 ●画面を開くか、ファインダーを引き出す。	24・32
撮影中	撮影できない	●モード選択スイッチを正しく設定する。 ●テープの誤消去防止用つまみを「REC」に合わせる。 ●「テープ終り」と表示されていませんか？ ➡テープを交換する。 ●電源スイッチを「撮影」または「M」に合わせる。 ●カセットカバーを閉じる。	33
撮影中	自動でピントが合わない	●電源スイッチを「撮影」に合わせる。 ●「M」のときはマニュアルフォーカスを解除する。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？ ●レンズにゴミや水滴などがついていませんか？	33・43
撮影中	被写体が暗い	●逆光補正ボタンを押す。	44
撮影中	被写体が明るい	●プログラムAEの「スポットライト」を選ぶ。 ●逆光補正を使っているときは解除する。 ●明るさ補正を「＋」側にしているときは解除する。	44・84
撮影中	被写体の色がおかしい	●照明や背後に色々な光源があるとき、おかしくなるときがあります。 ➡白バランスのワンタッチで色バランスを調整する。	84

故障かな!?

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
撮影中	映像の縦に明るい線が出る	●強い光の当たる被写体を撮影しませんでしたか? ➡コントラストにより出ることがあります。故障ではありません。	—
	日時表示が出ない	●撮影日時／表示メニューの「日時表示」を「入」にする。	92
	デジタルズームできない	●メモリーモードでは、ズーム10 倍までです。 ●「ズーム」を「10 倍」に設定すると、それ以上できません。(ビデオのみ)	86
	プログラムAE・場面切替が使えない	●電源スイッチを「M」に合わせる。	42
	場面切替の「フェーダー:白黒」が使えない	●プログラムAE の「セピア」や「白黒」を選んでいるときは使えません。	84
	白バランスが設定できない		
	ヘッドホンの音が小さい(出ない)	●一度撮影を中止し、再生モードにして、音量スイッチをT側に調整する。	46

■次の場合、故障ではありません

●太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる

●画面やファインダーに黒い点、赤、青、緑の光る点が出る

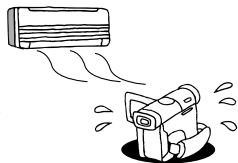
(画面には99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の小さな点が出ることがあります。)

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
画面・ファインダー	画面が暗い、または白くなる	●画面の角度や明るさを調節する。 ●寒い所では多少暗くなります。故障ではありません。 ●寿命が短くなっている可能性があります。 ➡お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へ。	92・98
	画面の裏側が熱くなる	●長時間使うとバックライトが熱くなります。故障ではありません。 ➡画面または電源を切ってしばらく置く。	–
	画面の表示にムラが出る	●画面やまわりを押しませんでしたか？（圧迫すると映像ムラが生じます） ➡手を離してしばらく置く。	–
	アイコン表示が点滅または消える	●場面切替･プログラムAE･手ぶれ補正のうち、同時に使えない機能を選んでいませんか？	84
	画面が見にくい	●直射日光下など周囲が明るいと見にくくなります。 ➡ファインダーの使用をお勧めします。	26
	画面に映像が出ない	●「優先設定」を「ファインダー」に設定して、ファインダーを引き出していませんか？ ●画面を180 度回転しているときは確実に開く。	90
	ファインダーに映像が出ない	●「優先設定」を「液晶モニター」に設定して、画面を開いていませんか？	90

故障かな!?

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
メモリーカード	カードが入らない	●メモリーカードの向きを確認する。	29
メモリーカード	ファイルを削除できない	●プロテクトを解除する。	72
その他	充電中、ランプが点滅しない	●低温や高温の環境で充電していませんか？（バッテリー保護のため充電を中止することがあります） ➡許容動作温度の範囲内の環境で充電する。	13
その他	テープが入らない	●テープの向きを確認する。 ●バッテリー残量を確認する。	22・28
その他	通信時エラー表示が出る	●パソコンケーブルを正しく接続する。 ●ソフトを正しくインストールする。	–
その他	DV ケーブル接続時、操作ができない	●電源「入」の状態でケーブルを抜き差ししませんでしたか？ ➡一度電源を切り、接続をやり直してから操作する。	–
その他	リモコンがきかない	●システムメニューの「リモコン」が「切」になっていませんか？ ●リモコンをビデオカメラのリモコン受光部に向けていますか？ ●電池が消耗していませんか？	90
その他	ヘッドホンから音が出ない	●編集コードが接続されていませんか？ ➡S/AV/編集コードを取りはずす。	–
その他	自動編集ができない	●DVDレコーダーやハードディスクレコーダーは使えません。	64

こんな表示が出たら…

表　示	対　応
露が付きました しばらくお待ち下さい （交互に表示され、本機が停止）	●テープを出し入れせずに1 時間以上待ち、メッセージが消えてから使う。 ●消えない場合は点検が必要。 （お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へ） ■つゆつきとは 冷えたビールをコップに注いだときのように、まわりに水滴が付着する状態のこと。本機で発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼りついてしまう。 ■こんな所で使うと起こりやすい ●湿気の多い所。 ●暖房した直後の部屋。 ●エアコンなどの冷風が直接当たる所から暑い屋外など、寒い所から暖かい所に急に移動したとき。 ■つゆつきを防ぐには ●温度や湿度の違う所に移動したときは、本機とテープをしばらく置き、環境になじませてから使う。 ●例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入った場合は、ビニール袋などで密封し、しばらく置いて室温になじませる。 ご注意 ●メッセージ表示前でもレンズや保護ガラスに水滴がついている場合、ヘッドドラムにも水滴が付着している可能性があります。カセットカバーを開けないでください。 ●寒冷地帯ではつゆが凍結し、霜になることがあります。またメッセージが消えるまで時間がかかることがあります。

こんな表示が出たら…

	表示	ここを確かめてください	ページ
全般	E01、E02、E06	●バッテリーと電源を取りはずしてつけ直し、表示が消えてから使う。	－
全般	E03、E04	●カセットテープを取り出して入れ直し、表示が消えてから使う。	－

■E表示について

●動作させて同じ表示が出なければ問題ありません。

●2、3回繰り返しても表示が消えないとき

➡カセットテープは取り出さず、お買い上げ店またはビクターサービス窓口へ。

	表示	ここを確かめてください	ページ
全般	日時を設定して下さい	●日時を設定し直す。再度表示されたら、お買い上げ店または、ビクターサービス窓口へ。	27
全般	バッテリー残量がありません	●ACアダプターを接続するか、バッテリーを充電する。	24
全般	撮影中は変更できません	●撮影をいったん停止してから操作する。	36
全般	クリーニングカセットを試して下さい	●ミニDVヘッドクリーナー（別売）でクリーニングする。	74
全般	レンズキャップ	●レンズキャップを取りはずす。	30
テープ	インサート録画できません	●テープのツマミを「REC」に合わせる。 ●「SPモード」で撮影したテープを入れる。	86
テープ	音声アフレコできません	●テープのツマミを「REC」に合わせる。 ●「SPモード」、「12BIT」で撮影しておく。	86
テープ	ナビできません	●本機で録画したテープを入れる。	47

	表示	ここを確かめてください	ページ
テープ	テープへ記録できません	●テープのツマミを「REC」に合わせる。	−
テープ	コピーガードがかかっています	●コピーガードのかかっている映像はダビングできません。	−
テープ	テープ終り	●テープを交換するか、巻き戻す。	−
メモリーカード	未対応のファイルです	●本機で再生できない形式です。 ➡ほかの機器で再生する。	−
メモリーカード	エラー	●メモリーカードを入れ直す、または初期化する。	29・72
メモリーカード	静止画（動画）がありません	●メモリーカードに静止画または動画を記録する。	38・39
メモリーカード	メモリー容量がありません	●メモリーカードを交換するか、ファイルを削除する。	70
メモリーカード	メモリーカードへ記録できません	●メモリーカードを交換するか、ファイルを削除する。 ●SDメモリーカードのライトプロテクトをはずす。	70
メモリーカード	ライトプロテクトがかかっています	●SDメモリーカードのライトプロテクトをはずす。 ●メモリーカードを交換する。	−
メモリーカード	プロテクトがかかっています。	●ファイルのプロテクトをはずす。	72
メモリーカード	このメモリーカードではできません	●テープ撮影時に入れていたメモリーカードを入れる。	−

設定 1 メニューを表示する

準備　●モード切替スイッチ:「ビデオ」(テープに撮るとき)、「メモリー」(カードに撮るとき)

1

■撮影用の設定をするとき
「M」にする

■再生や編集用の設定をするとき
「再生」にする

2

メニュー 押す

(各メニューが表示される)

例：撮影用メニューのとき

撮影の効果や色合い、光のバランスの変更、
画面表示の切替え、編集作業など、お買い上げ時の
設定を変えて操作することができます。

撮影用のメニュー

撮影中（[M]）に「メニュー」を押すと表示される項目です。

アイコン	メニュー	ページ
	場面切替	84
	プログラムAE	84
	白バランス	84
	フルオート	86
	マニュアル	88
	システム	90
	撮影日時/ 表示	92
	静止画撮影	86
	終了	–

●メニューを表示したとき、文字が消えている機能は使えません。

再生や編集用のメニュー

再生中（[再生]）に「メニュー」を押すと表示される項目です。

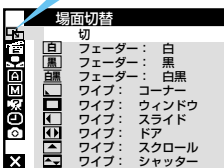
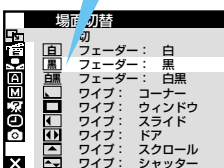
■モード切替スイッチ：「ビデオ」のとき

アイコン	メニュー	ページ
	ビデオ再生モード	94
	システム	90
	再生日時/ 表示	92
	終了	–

■モード切替スイッチ：「メモリー」のとき

メニュー	ページ
プロテクト	72
削除	
DPOF	
番号リセット	
フォーマット	
画面表示	
画面明るさ	
終了	

お知らせ

●変更した設定は、「プリセット」（P. 90）で全てお買い上げ時の状態に戻すことができます。

設定 2

撮影効果メニュー

準備　●モード切替スイッチ：「ビデオ」(テープに撮るとき)、「メモリー」(カードに撮るとき)

1 「M」にする

2 押す（メニューが表示される）

3 ①アイコンを ▲▼で**選んで**

②**決定する**

アイコン

4 ①変更したい設定項目を ▲▼で**選んで**

②**設定する**

設定項目

■設定が終わったら ➡ (戻る)で決定、
✕(終了)で決定し撮影画面に戻る

お知らせ

●場面切替を設定したときは、撮影開始（イン）と終了（アウト）時の「撮影ボタン」を押した直後にそれぞれ効果があらわれます。

	設定項目
場面切替	● 切
	白 フェーダー：白
	黒 フェーダー：黒
	白黒 フェーダー：白黒
	ワイプ：コーナー
プログラムAE	● 切
	1/60 シャッター 1/60
	1/100 シャッター 1/100
	1/250 シャッター 1/250 ～ 1/4000 シャッター 1/4000
	スポーツ
	スノー
白バランス	● オート
	ワンタッチ

ここで設定した内容は、「M」に合わせて撮影をするときに効果があります。「撮影」に合わせたときは、一時的にお買い上げ時の設定に戻ります。

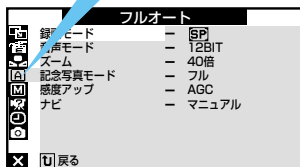
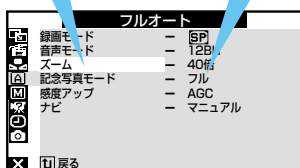
設定内容	設定項目	設定内容	ページ
場面切替を使わない。			40
白い画面でフェードイン、フェードアウト。	ワイプ：ウィンドウ	映像が中央から外にワイプイン、逆向きにワイプアウト。	
黒い画面でフェードイン、フェードアウト。	ワイプ：スライド	映像が右から左にワイプイン、逆向きにワイプアウト。	
白黒画面からカラー画面にフェードイン、カラー画面から白黒画面にフェードアウト。	ワイプ：ドア	映像が中央から左右に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。	
	ワイプ：スクロール	映像が下から上にワイプイン、逆向きにワイプアウト。	
映像が右上から左下にワイプイン、逆向きにワイプアウト。	ワイプ：シャッター	映像が中央から上下に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。	

設定内容	設定項目	設定内容	ページ
映像に変化をつけない。			40
テレビ画面などを撮るときの、黒い帯が細くなる。	スポットライト	スポットライトなどが当たって、被写体が明るく映りすぎるとき。	
蛍光灯のチラつきを抑える。（50Hz地域のみ）	夜景	夜景などを撮るときに、自然な感じで撮影。	
「スポーツ」でお好みの効果が得られないときに、手動で設定する。	セピア	古い写真のようなセピア色で撮影。	
	B/W 白黒	白黒映画のようにモノクロで撮影。	
動きの速い被写体を、1コマ1コマ鮮明に撮影。	映画効果	速いコマ落としをつけて、映画のような効果を出す。	
晴れた日の雪原など、周囲が明るい場所で撮るとき。	ストロボ	コマ落としで、連続写真のように撮影。	

設定内容	設定項目	設定内容	ページ
自動的に色バランス調整。			–
被写体の色をより正確に。①白い紙を用意し、画面全体に写し出す。② 「[icon]」の点滅が止まるまで「決定ボタン」を押し続ける。	はれ	晴れた日の屋外で撮影するとき。	
	くもり	曇りの日や日陰で撮影するとき。	
	ハロゲン	撮影用ライトなど、照明の下で撮影するとき。	

●印は、お買い上げ時の設定です

設定 3

フルオート／静止画撮影メニュー

準備　●モード切替スイッチ：「ビデオ」(テープに撮るとき)、「メモリー」(カードに撮るとき)

1 「M」にする

2 メニュー 押す (撮影用メニューが表示される)

3 ①アイコンを▲▼で選んで ②決定する

4 ①変更したい設定項目や内容を▲▼で選んで ②設定する

■設定が終わったら ➡ (戻る)で決定、(終了)で決定し撮影画面に戻る

お知らせ

●静止画をまとめて撮影する(インターバルショットなど)ときは、先に「番号リセット」(P. 72)で保存先のフォルダを分けておくと便利です。
●静止画から動画ファイルを作るには『ソフトウェア取扱説明書』をご覧ください。

	設定項目
A フルオート	録画モード
	音声モード
	ズーム
	記念写真モード
	感度アップ
	ナビ
静止画撮影	画質設定
	画像サイズ
	記録選択
	インターバルショット
	インターバルタイム

ここで設定した内容は､｢M｣や｢撮影｣に合わせて
撮影するときに効果があります。

設定内容	ページ
●SP：標準 モード。アフレコ編集・インサート編集できる。(大切な録画に) LP：長時間 モード。撮影時間がSP モードの1.5 倍。	36
●12BIT：アフレコ編集できる。 16BIT：高音質で録音する。	62
10倍　：光学ズーム（画質が劣化しない)。 ●40倍　：デジタルズーム（倍率を上げる程、画質が劣化する)。 200倍：デジタルズーム（倍率を上げる程、画質が劣化する)。	37
●フル　　：全面に静止画を表示する。 ネガ　　：写真のネガのように階調を反転する。 フレーム：白フチをつける。	37
切　　　　：暗いときも自然のままの明るさ。 ●AGC　　　：暗いときは電気的に感度アップ。 オート☀A：暗いときは自動的に明るく調節する（AGCより明るくなる)	–
●マニュアル：ナビ書込みボタンを押したときに記録する。 5秒、15秒、30秒、60秒：設定した秒数がたつと自動的に記録する。 切：頭出しデータを記録しない。	36・47
●ファイン　　：高画質（撮影枚数が少ない)。 スタンダード：撮影枚数が多い。	38
640×　480：撮影枚数を多くしたとき。 1024×　768：パソコンで見たいとき。 1280×　960：印刷したいとき。 ●1600×1200：きめ細かく印刷したいとき（高解像度用)。	38
●➡📼　　　：テープのみに記録する。 ➡📼／➡Ⓜ：テープとメモリーカード両方に記録する。	37
●切：通常の撮影をする。 入：定期的に、静止画をメモリーカードに撮影する。	38
15秒、30秒、●1分、2分、5分、10分、30分、60分：インターバルショットの静止画を自動で撮影していく間隔を設定する。	–

●印は、お買い上げ時の設定です

設定4 マニュアルメニュー

準備　●モード切替スイッチ：「ビデオ」（テープに撮るとき）、「メモリー」（カードに撮るとき）

1 「M」にする

2 メニュー **押す**（撮影用メニューが表示される）

3 ①アイコンを▲▼で**選んで**
②**決定する**

アイコン

マニュアル

手ぶれ補正 — 入
セルフタイマー — 切
5S — 切
テレマクロ — 切
ワイド効果 — 切
ボイスポジション — 切
フラッシュ明るさ — ±0
戻る

4 ①変更したい設定項目や内容を▲▼で**選んで**
②**設定する**

■設定が終わったら ➡ （戻る）で決定、
（終了）で決定し撮影画面に戻る

	設定項目
Ⓜマニュアル	手ぶれ補正
	セルフタイマー
	5S
	テレマクロ
	ワイド効果
	ボイスポジション
	フラッシュ明るさ

ここで設定した内容は、「M」に合わせて撮影をするときに効果があります。「撮影」で撮影するときは、一時的にお買い上げ時の設定に戻ります。

設定内容	ページ
切：設定しない。 ●入：手ぶれによる映像のブレを低減する。 ・三脚などで固定して撮影するときは「切」にする。（不必要な補正が行われ、不自然な映像になることがあるため） ・次の場合は補正しきれないことがあります 手ぶれが大きい、被写体にコントラスト（明暗差）がほとんどない、映像にデジタル処理をしている場合。	–
●切：設定しない。 入：設定して撮影ボタンを押すと、15秒後に撮影が始まる。	–
●切　：設定しない。 5S　：5秒間だけ撮影して一時停止する。（スナップショットムービー） アニメ：1/8秒間だけ撮影して一時停止する。（アニメーション作成など）	–
●切：1m まで接近して撮影できる。 入：T 側で60cm まで接近して撮影できる。	–
●切　：設定しない。 シネマ：映画風に上下に黒い帯が入る。 ワイド：ワイドテレビ（16：9）と同じ横長の画面になる。普通のテレビ（4：3）では、縦長の映像が映る。 デジタルワイド：撮影できる範囲が広がる。（0.7倍） ・ワイドテレビで再生するときは 本機をテレビのS2端子やS1端子に接続すると、テレビがワイド映像を自動判別して再生します。S端子につなげた場合は、お使いのテレビ側で映像を切り替えてください。 ・ワイド映像をダビングしたときは 本機で撮ったワイド映像を、ビデオデッキなどでダビングしたときは、再生時にお使いのテレビ側で映像を切り替えてください。	49
●切：自然な音声を録音する。 入：風による雑音を軽減して録音する。	–
+3～●±0～−3：フラッシュの発光量を設定する。（+側 明るい、−側 暗い）	44

●印は、お買い上げ時の設定です

設定 5

システムメニュー

1

M 撮影 切 再生

「M」または「再生」にする

2

メニュー 押す（メニューが表示される）

3

①アイコンを ▲▼で 選んで

②決定する

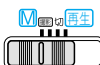
4

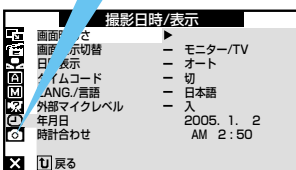
①変更したい設定項目や内容を ▲▼で 選んで

②設定する

■設定が終わったら ➡ （戻る）で決定、
（終了）で決定し撮影画面に戻る

	設定項目
システム	ブザー
	タリー
	リモコン
	デモモード
	動画記録
	優先設定
	プリセット

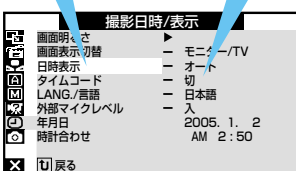
ここで設定した内容は、「M」「撮影」「再生」など全ての操作時に共通で有効です。「プリセット」では、全てのメニュー設定をお買い上げ時に戻すことができます。

設定内容	ページ
切　：操作音を消す。 ブザー　：一部の操作のみブザー音。 ●メロディー：操作するごとにメロディー音。	–
切：点灯しない。 ●入：撮影中にランプが点灯する。	–
切：リモコン操作を受けつけない。 ●入：リモコンで操作できる。	–
切：設定しない。 ●入：プログラムAE などの効果をデモで確認できる。 ・「入」に設定しているときに、本機にテープを入れずに電源を入れると、液晶画面に本機の機能デモンストレーションを映像で表示します。（表示中に本機を操作すると表示を中止）	40・84
160×120：メールの添付に適したサイズ。 240×176：標準サイズ。 ●352×288：パソコンなどの大きな画面での表示に適したサイズ。	39
●液晶モニター：液晶画面を優先的に表示する。 ファインダー：ファインダーを優先的に表示する。	26
実行：メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す。	–

●印は、お買い上げ時の設定です

設定 6

撮影・再生日時／表示メニュー

1

■撮影用の設定をするとき
「M」にする

■再生用の設定をするとき
「再生」にする

2

押す（メニューが表示される）

3

①アイコンを
▲▼で
選んで

②決定する

アイコン

4

①変更したい
設定項目や
内容を
▲▼で
選んで

②設定する

設定項目　設定内容

■設定が終わったら ➡ （戻る）で決定、
（終了）で決定し
撮影画面に戻る

	設定項目
日時／表示	画面明るさ
	画面表示切替
	日時表示
	タイムコード
	LANG./ 言語
	外部マイクレベル
	年月日時計合わせ（撮影用のみ）

ここで設定した内容は「M」「撮影」時、
「再生」時のそれぞれで有効になります。

設定内容	ページ
画面の明るさを調節する。 （暗く）（明るく） 画面明るさ −□□+ 調節バー：◀ ▶で調整し、決定する	26
（撮影用） モニター　：TV やビデオデッキに、文字や記号を出力しない。 ●モニター/TV　：TV やビデオデッキに、画面と常に同じ表示を出力する。 （再生用） 切　：画面、TV、ビデオデッキに、文字や記号を出力しない。 ●モニター　：TV やビデオデッキに、文字や記号を出力しない。 モニター/TV　：TV やビデオデッキに、画面と常に同じ表示を出力する。	49・57
（撮影用） 切　：表示しない。 ●オート　：電源を入れたときに5 秒間表示する。 入　：常に表示する。 （再生用） ●切　：表示しない。 オート　：再生をはじめたとき・日付が変わったときに5 秒間表示する。 入　：常に表示する。	49・57
●切：表示しない。 入：表示する。	62
●日本語　：メニューを日本語で表示する。 ENGLISH：メニューを英語で表示する。	23
切：表示しない。 ●入：外部マイクを接続すると表示する。	62
年月日、時刻：年月日と時刻を設定する。	27

●印は、お買い上げ時の設定です

設定 7 ビデオ再生モードメニュー

準備　●モード切替スイッチ：「ビデオ」

1 「再生」にする

2 メニュー 押す（再生用メニューが表示される）

3 ①アイコンを▲▼で選んで ②決定する

4 ①変更したい設定項目や内容を▲▼で選んで ②設定する

設定項目　設定内容

ビデオ再生モード
音声切替 ー ステレオ
アフレコ音声 ー 切
シンクロ補正 ー ±0.0
録画モード ー SP
コピー ー 切
ナビ画像削除 ▶
ブランクサーチ ▶
アナログ入力 ー 切
戻る

■設定が終わったら ➡ （戻る）で決定、
✕（終了）で決定し
撮影画面に戻る

	設定項目
ビデオ再生モード	音声切替
	アフレコ音声
	シンクロ補正
	録画モード
	➡ コピー
	ナビ画像削除
	ブランクサーチ
	アナログ入力

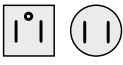
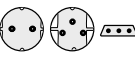
ここで設定した内容は、「再生」に合わせて再生や編集をするときに効果があります。

設定内容	ページ
●ステレオ：左右の音声を両方とも再生する。 音声L：左の音声のみ再生する。 音声R：右の音声のみ再生する。	–
●切：撮影時の音声を再生する。 入：アフレコ音声を再生する。 ミックス：撮影時の音声とアフレコ音声を同時に再生する。	62
−1.3～●±0～+1.3：お使いのビデオデッキにあわせて補正する。	69
●SP：標準 モード。アフレコ編集・インサート編集できる。（大切な録画に） LP：長時間 モード。撮影時間がSP モードの1.5 倍。	36
●切：コピーしない。 入：テープからメモリーカードに静止画をコピーできる。	60
画像選択：頭出しデータを1件削除する。 テープ選択：同じテープから作成した頭出しデータを削除する。 すべて：すべての頭出しデータを削除する。	48
実行：5秒間以上の無記録部分を探す。 ・無記録部分の約3秒手前で停止しますので、そこから録画をスタートすると、約3秒間映像が上書きされてしまいます。必要に応じて再生し、録画スタート位置を確認してください。	36
●切：アナログ入力を無効にする。 A/V 入力：再生機の映像出力端子に接続する。 S 入力：再生機のS 出力端子に接続する。	58

●印は、お買い上げ時の設定です

日常のお手入れ

●お手入れの前に、バッテリー、AC アダプターまたは電源プラグをはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。 ●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 <ご注意> ・ベンジンやシンナーは使わない。（損傷や故障の原因） ・化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。 （汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因）

海外で使うときは

本機は海外でも、ACアダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。
ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

■訪問国に合った変換プラグをご用意ください

コンセントの形状（主な使用国）	（北米・南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

■次の訪問国では、現地のテレビでも再生することができます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です。詳しくは「テレビで見る」（P. 49）をご覧ください。

- アメリカ合衆国
- プエルトリコ
- バルバドス
- キューバ
- フィリピン
- チリ
- コロンビア
- 台湾
- バミューダ
- バハマ
- カナダ
- 米領サモア
- 韓国
- コスタリカ
- メキシコ
- ニカラグア
- パナマ
- エルサルバドル
- ペルー
- グアム
- グァテマラ
- ミクロネシア
- スリナム
- ハイチ
- エクアドル
- ベネズエラ
- ミャンマー
- ボリビア
- ホンジュラス
- ドミニカ
- トリニダード・トバコ

保証とアフターサービス

保証書(別添付)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼される場合(持込修理)

74~81ページに従って調べてください。なお異常のあるときは、電源を切り、必ずバッテリーまたはACアダプターを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。本機、DVカセットテープなどの万一の不具合により、正常に録画・録音・再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

■ご連絡していただきたい内容

品名	デジタルビデオカメラ
型名	GR-DZ7
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	(　　)　ー

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

愛情点検

●長年ご使用のビデオカメラの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

●再生しても映像や音声が出ない。
●異常な臭いや音がする。
●水や異物が入った。
●その他の異常や故障がある。

ご使用を中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

サービス窓口案内

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください。

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

※略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越				
新潟	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越 S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11-2
長野	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋 S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター(株)前橋工場第2棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター(株)水戸工場技術棟1F
	土浦 S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
山梨	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2(第2石原ビル)
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ケ谷6-19-26
静岡				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津 S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1丁目1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0404

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.C.	(0742)35-0935	630-8115	奈良市大宮町六丁目3-10 藤本ビル1階
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084)931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	周南市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	781-8122	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡 佐賀	福岡 S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097)543-1422	870-0820	大分市西大道三丁目1番1号
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
山陰ビクター販売(株)				
島根	松江 S.C.	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1丁目16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外で故障したときのご相談窓口

海外で故障したときは、以下の窓口にてご相談ください。日本語での対応ができない窓口もあります。また、海外では日本の保証書は適用されません。

カナダ　JVC CANADA INC.
・トロント〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario, M1X 1A7

アメリカ　JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA
・ロサンゼルス〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー〔800-252-5722〕
1700 Velley Road, Wayne, NJ 07470
・ホノルル〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, SUITE 105, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス　JVC (U.K.) LTD.
・ロンドン〔020-8450-3282〕
JVC House, JVC Business Park, Priestley Way,London, NW2 7BA

フランス　JVC FRANCE S.A.S.
・パリ〔0825-800-811〕
BP50, 78422 Carrieres Sur Seine Cedex, FRANCE

シンガポール　JVC ASIA PTE. LTD.
・シンガポール〔6255-8155〕
31Kaki Bukit Road 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

仕様

一般

電源	DC 11 V (AC アダプター使用時)、DC 7.2 V (バッテリー使用時)
消費電力	4.9 W (ファインダー使用時)、5.7 W (液晶画面使用時)
外形寸法	62 mm × 101 mm × 115 mm (幅×高さ×奥行き)(フード含まず)
質量	本体質量　約560 g 撮影時質量　約650 g(バッテリーBN-V408、60 分テープ、メモリーカード、グリップベルト、レンズキャップ含む)
許容動作温度	0 ℃〜 40 ℃
許容相対湿度	35 % 〜 80 %
許容保存温度	− 20 ℃〜 50 ℃

カメラ部

撮像素子	1/3.6 型212 万画素CCD 撮像エリア　ムービー時：123 万画素　静止画時：200 万画素
レンズ	F1.8 〜 F2.2 f = 4.5 mm 〜 45 mm (35mmカメラ換算　ムービー時　：48.7mm〜487mm 静止画時　：38.9mm〜389mm)
フィルター径	30.5 mm (ネジピッチ0.5 mm)
ズーム倍率	光学10 倍、最大200 倍(デジタル使用)
最低照度	28 ルクス(ナイトアイ時:約1 ルクス)

液晶画面／ファインダー部

液晶画面	2.5 型、12.3 万画素　ポリシリコンカラー液晶
ファインダー	0.3 型、12.3 万画素　ポリシリコンカラー液晶

■撮影・再生時の仕様

再生	拡大再生　20 倍まで
撮影	ズーム撮影　10 倍まで光学ズーム、200 倍までデジタルズーム

デジタルビデオカメラ部

録画／再生方式	DV 方式(SD 仕様) 映像:デジタルコンポーネント記録 音声:PCM デジタル記録、32 kHz 4 チャンネル(12BIT)、 48 kHz 2 チャンネル(16BIT)、44.1 kHz (再生のみ)
信号方式	NTSC 日米標準信号方式
使用カセット	ミニDV カセット
録画／再生時間	SP モード:80 分、LP モード:120 分(80 分テープ使用時)
早送り／巻き戻し時	約3分(60 分テープ使用時)

デジタルスチルカメラ部

項目		内容
記憶メディア		SD メモリーカード、マルチメディアカード
圧縮方式	静止画	JPEG 準拠
	動　画	MPEG4 （ASF 形式） 準拠
画像サイズ	静止画	1600 × 1200 ドット　1024 × 768 ドット 1280 ×　960 ドット　　640 × 480 ドット
	動　画	160 × 120 ドット　240 × 176 ドット 352 × 288 ドット
静止画画質		2 モード（ファイン／スタンダード）

■静止画の撮影可能枚数の目安

画像サイズ	画質モード	マルチメディアカード		SD メモリーカード			
		16MB（市販）	32MB（市販）	8MB（付属）	16MB（市販）	32MB（市販）	64MB（市販）
640×480	ファイン	約 105 枚	約 215 枚	約　47 枚	約　95 枚	約 205 枚	約 425 枚
	スタンダード	約 225 枚	約 470 枚	約　85 枚	約 175 枚	約 375 枚	約 755 枚
1024×768	ファイン	約　50 枚	約 100 枚	約　21 枚	約　47 枚	約　95 枚	約 200 枚
	スタンダード	約 100 枚	約 205 枚	約　42 枚	約　85 枚	約 185 枚	約 375 枚
1280×960	ファイン	約　32 枚	約　60 枚	約　13 枚	約　29 枚	約　60 枚	約 125 枚
	スタンダード	約　65 枚	約 130 枚	約　27 枚	約　55 枚	約 120 枚	約 250 枚
1600×1200	ファイン	約　17 枚	約　35 枚	約　7 枚	約　16 枚	約　34 枚	約　65 枚
	スタンダード	約　29 枚	約　55 枚	約　12 枚	約　26 枚	約　50 枚	約 110 枚

■動画の記録可能時間の目安

画像サイズ	マルチメディアカード		SD メモリーカード			
	16MB（市販）	32MB（市販）	8MB（付属）	16MB（市販）	32MB（市販）	64MB（市販）
160×120	約　17 分	約　34 分	約　7 分	約　15 分	約　33 分	約　68 分
240×176	約　6 分	約　12 分	約　2 分	約　5 分	約　12 分	約　25 分
352×288	約　2 分	約　4分	約　30 秒	約　1 分	約　4 分	約　8 分

お知らせ

- パソコンで動画ファイルを再生する場合は、Windows MediaTM Player（Windows 版、Macintosh版ともにVer6.4 以降）をお使いください。詳しくは、『ソフトウェア取扱説明書』をご覧ください。
- Windows MediaTM は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- 撮影可能枚数と記録可能時間は、メモリーカードの購入時のものです。ナビの頭出しデータなどを記録すると、減少します。

仕様

端子部	
DV 端子	4 ピン(i.LINK/IEEE1394 準拠)
S/AV 端子	S2 映像端子 アナログ入力(Y:0.8 V (p-p) ～ 1.2 V (p-p)、75 Ω　C:0.2 V (p-p) ～ 0.4 V (p-p)、75 Ω) アナログ出力(Y:1.0 V (p-p)、75 Ω　C:0.29 V (p-p)、75 Ω) 映像端子 アナログ入力(0.8 V (p-p) ～ 1.2 V (p-p)、75 Ω) アナログ出力(1.0 V (p-p)、75 Ω) 音声端子 ステレオ／アナログ入力(300 mV (rms)、50 kΩ) ステレオ／アナログ出力(300 mV (rms)、1 kΩ) 編集端子
USB 端子	ミニUSB-B タイプ　USB 2.0/1.1
マイク端子	φ3.5 mm ミニジャック(ステレオ)
ヘッドホン端子	φ3.5 mm ミニジャック(ステレオ)

フラッシュ	
推奨撮影距離	2 m 以下

AC アダプター(AP-V14)	
電源	AC 100 V －240 V、50 Hz ／ 60 Hz
入力容量	23 VA (100 V)、31 VA (240 V)
出力	DC 11 V、1 A
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃ (充電時は10 ℃～ 35 ℃)
外形寸法	50 mm × 27 mm × 71 mm (幅×高さ×奥行き) (コード、AC プラグ含まず)
質量	約100 g

リモコン(RM-V720)	
電源	DC 3 V (ボタン電池　CR2025)
電池寿命	約1 年(使用頻度によりかわります。)
動作距離	約5 m (正面軸上)
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃
外形寸法	45 mm × 11 mm × 105 mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約40 g (ボタン電池含む)

バッテリー（BN-V408）

電圧	DC 7.2 V
容量	800 mAh
外形寸法	38 mm × 22 mm × 55 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約60 g

■充電時間の目安　室温10 ℃～ 35 ℃の範囲を想定しています。

バッテリー	時間
BN-V408（同梱）/BN-V408-H（別売）	約 1 時間 30 分
BN-V416（別売）/BN-V416-H（別売）	約 3 時間
BN-V428（別売）	約 5 時間
BN-V438（別売）	約 6 時間 30 分

■実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V408（同梱）/BN-V408-H（別売）	約 35 分	約 30 分
BN-V416（別売）/BN-V416-H（別売）	約 1 時間 5 分	約 55 分
BN-V428（別売）	約 1 時間 55 分	約 1 時間 40 分
BN-V438（別売）	約 2 時間 40 分	約 2 時間 15 分
VU-V840KIT（別売）	約 2 時間 45 分	約 2 時間 20 分
VU-V856KIT（別売）	約 3 時間 55 分	約 3 時間 20 分

■連続撮影時間の目安（最大撮影時間）

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V408（同梱）/BN-V408-H（別売）	約 1 時間 10 分	約 1 時間 00 分
BN-V416（別売）/BN-V416-H（別売）	約 2 時間 15 分	約 1 時間 55 分
BN-V428（別売）	約 3 時間 55 分	約 3 時間 20 分
BN-V438（別売）	約 5 時間 20 分	約 4 時間 35 分
VU-V840KIT（別売）	約 5 時間 30 分	約 4 時間 40 分
VU-V856KIT（別売）	約 7 時間 50 分	約 6 時間 45 分

※VU-V840KIT およびVU-V856KIT は、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、別売のDC コード（VC-VBN800）でバッテリーポーチとビデオカメラを接続して使います。バッテリーをビデオカメラに直接取りつけることはできません。

お知らせ

- 撮影時間は、ズームを使ったり、撮影と撮影停止を繰り返すことなどで短くなります。バッテリーは撮影予定時間の約3 倍分ご用意されることをお勧めします。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入／切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなることがあります。十分に充電しても撮影できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください（P. 13,14）。
- i-LINK は、IEEE1394-1995 仕様およびその拡張仕様です。i はi-LINK に準拠した商品につけられるロゴマークです。

・本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
お客様の貴重なご意見を参考に、今後もよりよい商品の開発を推進していきます。
つきましては、お手数ですが、本機をおもにお使いになる方に、アンケートおよび
ユーザー登録にご協力いただきたく、お願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご回答ください。

http://www.victor.co.jp/reg/dvc/

なお、同梱されているはがき（ご愛用者カード）でもアンケートに回答していただけます。
ご愛用者カードにご記入後、ポストへ投函してください。

※お客様の個人情報は弊社の責任で保管し、お客様の承諾なしに公表することは一切ありません。

商品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング**	本製品についての技術的なお問い合わせは **DVご相談窓口**
P.98 をご覧ください。	電話：(045)450-2770

お買い物情報や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話：(03) 5684-9311
FAX：(03) 5684-9317
〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

M4D6 0604FOH-HT-VP